

平成 30 年
消 防 概 況
(令和元年刊行)



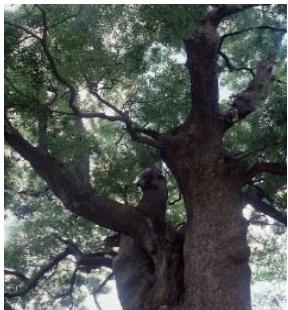
摂津市消防本部

摂津市民憲章

(昭和46年11月1日制定)

わたしたち、淀川のゆたかな流れのほとりに住む摂津市民は、これまでにきずかれてきた伝統と文化を生かし、力を合わせて、しあわせのあふれるまちをつくるために、この市民憲章をさだめます。

1. みんなでつくろう ゆたかで平和な すみよいまちを
2. みんなできずこう きまりをまもる あかるいまちを
3. みんなでそだてよう 花とみどりの きれいなまちを
4. みんなでめざそう老人と子供をいたわるえがおのまちを
5. みんなでのばそう かおり高い 文化のまちを



市の木…………クスノキ



市の花…………ツツジ



市の鳥…………カルガモ

(昭和46年11月1日制定) (昭和46年11月1日制定) (平成18年11月1日制定)

市章のいわれ



本市の市章は、大空へはばたく野鳥を象徴化したものです。また一面、摂津市の「セ」の字を図案化したものでもあり、大きく飛躍する市の発展を表象しております。また、野鳥は、自然の緑を求めるものであり、静かで平和な環境のよい本市の未来を象徴しています。

(昭和41年11月1日制定)



セッピイ

(平成18年11月1日制定)

は　じ　め　に

この概況は、摂津市に関する消防業務を収録し、
今後の参考に資するとともに、消防事象を広く紹介
するために編集いたしました。

多くの方々にご覧頂き、本市の消防行政に対する
認識を一層深めて頂ければ幸いと存じます。

今後とも消防に対する変わらぬ、ご指導ご鞭撻を
賜わりますようお願い申し上げます。

摂　津　市　消　防　本　部

凡 例

- 1 資料は、原則として各年度末日現在の数値を収録し、火災統計、救急統計、救助統計、通信指令統計については、各年末日の数値を収録した。
その他、当該表に記載した年月日をもって表示したものがある。
- 2 表中の整数以外の数値は、原則として小数点以下第2位を四捨五入することとした。したがって、合計の数字と内訳の合計が一致しない場合がある。
- 3 表中の符号等は、下記による。
※「空欄」……該当なし
※「△」……減少

目 次

市 の 概 要 と 消 防 の 沿 革

地理的位置	1
沿革	2
人口と消防現況の推移	6

総 務 編

摂津市消防本部組織図	7
庁舎概要	8
消防予算	
一般会計予算と消防費	9
消防費決算額及び比率の推移	9
当初予算	9
消防費の内訳	10
過去5ヶ年の消防費の推移	10
消防職員の配置状況	11
消防職員の年齢	12
年齢別消防職員数	12
消防職員の勤続年数	13
勤続年数別消防職員数	13
消防職員の階級	13
階級別消防職員数	13
委託教育派遣状況	14
消防職員特殊技能等取得状況	15

警 備 編

消防相互応援協定	16
消防相互応援協定状況	16
消防緊急情報システム等設備一覧	17
消防本部車両一覧	18
消防用機械器具保有状況	19
ポンベ配備状況	23
消防水利の保有数	24
消防訓練指導状況	25

火 灾 概 況

火災概況	26
過去10年間の火災件数	26
平成30年・29年の火災概況	27
火災種別・原因別発生状況	28
月別火災発生状況	29
曜日別火災発生状況	30
覚知方法別火災発生状況	31
管轄別火災発生状況	31
火災による死傷者状況	32
時間帯別火災発生状況	33
管轄別警戒発生状況	34
時間帯別警戒発生状況	35
消防団火災出動状況	36
消防団警戒出動状況	37
(参考) 燃損程度の区分・り災程度の区分	38

救 急 概 況

救急概況	39
救急出場件数及び搬送人員等前年比較	39
過去10年間の事故種別救急出場件数	40
事故種別・曜日別出場件数	41
事故種別・時間別出場件数	42
月別・診療科目別搬送人員	43
事故種別・傷病程度別搬送人員	44
事故種別・年齢別搬送人員	44
普通救命講習会実施状況	45
(参考) 傷病程度の分類・年齢の分類	46

救 助 概 況

救助概況	47
救助出動状況前年比較	47
過去10年間の救助出動件数	47
救助活動状況	48
事故種別出動車両	49
救助隊訓練実施状況	50

通 信 指 令 概 況

通信指令概況	51
1 1 9番通報受付件数	51
1 1 9番回線別通報件数	52
救急安心センターおおさか摂津市件数	52

予 防 編

防火対象物数	53
防火対象物査案件数	54
消防用設備等設置検査実施状況	55
消防用設備等点検結果報告件数	56
防火管理	
防火管理者資格取得講習会	57
防火管理者等届出件数	57
広報行事実施状況	57
危険物	
危険物施設数過去10年間の推移	58
危険物製造所等査案件数	58
危険物製造所等許可申請件数	59
火を使用する設備等届出件数	59
危険物保安監督者選任・解任届出件数	59
火薬類取締法 許可等施設数及び立入検査実施数	60
高圧ガス保安法 許可等施設数及び立入検査実施数	60
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 許可等施設数及び立入検査実施数	60
火薬類取締法 許可等申請及び届出件数	61
高圧ガス保安法 許可等申請及び届出件数	61
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 許可等申請及び届出件数	61

消 防 団 編

消防団組織	62
消防団員の年齢	63
年齢別消防団員数	63
階級別消防団員数	63
消防団員の勤続年数	64
勤続年数別消防団員数	64
消防団員表彰	65
消防団車両一覧	66

市の概要と消防の沿革

地理的位置

本市は、大阪府の北部いわゆる三島平野の南西部に位置し、西は大阪市や吹田市、北は茨木市、東は高槻市、南は淀川をはさんで守口市や寝屋川市と隣接している。

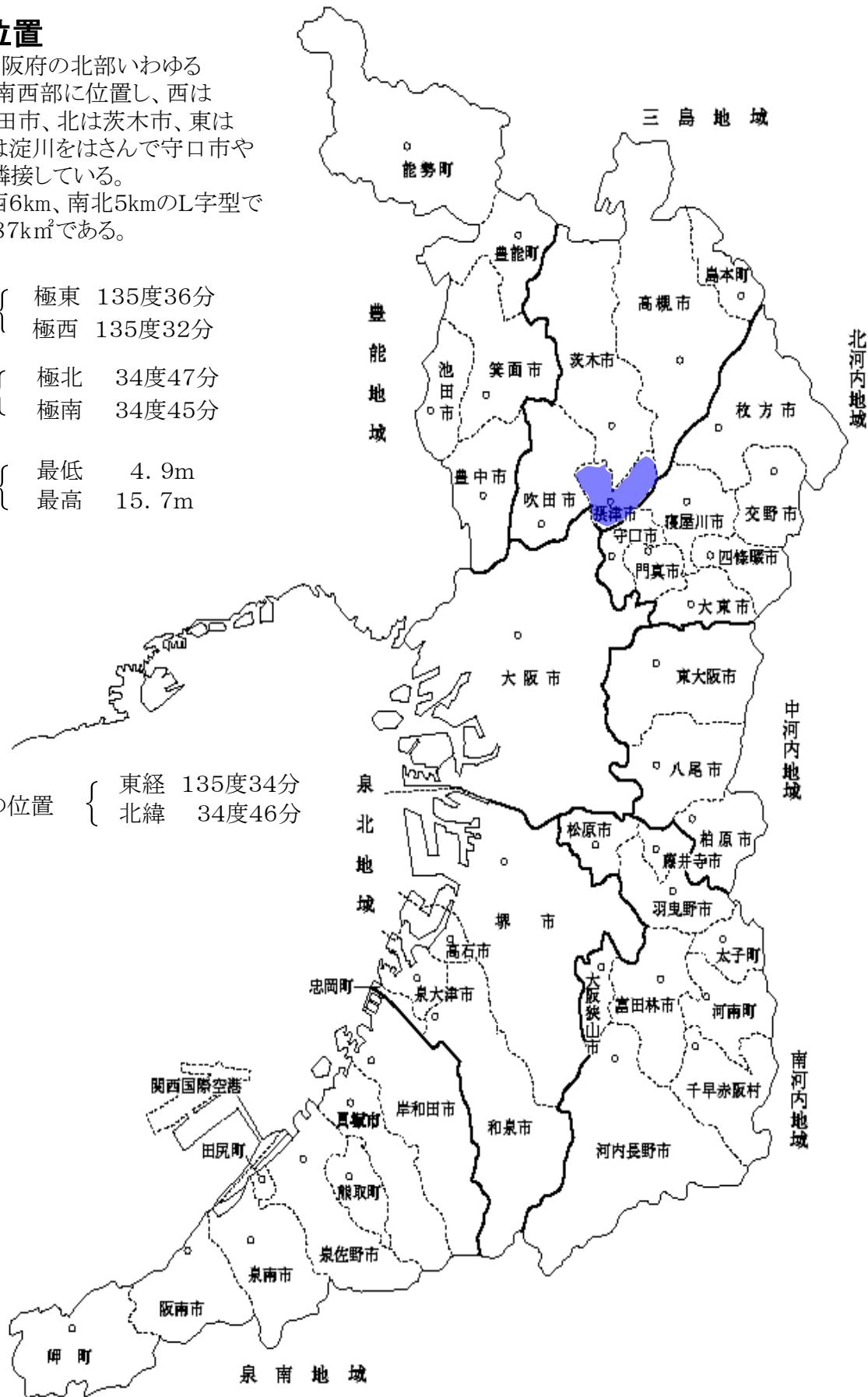
地形は東西6km、南北5kmのL字型で面積は14.87km²である。

東經 { 極東 135度36分
 極西 135度32分

北緯 { 極北 34度47分
 極南 34度45分

海拔 { 最低 4. 9m
最高 15. 7m

消防本部の位置 { 東経 135度34分
 北緯 34度46分



沿革

昭和 3年 4月 1日	消防組結成(三宅村・味生村・味舌村・鳥飼村消防組)
昭和14年 4月 1日	警防団結成(三宅村・味生村・味舌村・鳥飼村警防団)
昭和22年 9月 1日	消防団結成(三宅村・味生村・味舌村・鳥飼村消防団)
昭和25年 4月 1日	味舌町制施行 味舌町消防団となる
昭和31年 9月30日	三島町制施行(味舌町・味生村・鳥飼村の町村合併による)
昭和31年 9月30日	三島町消防団発足する
昭和32年 7月 1日	茨木市鶴野・小坪井西・小坪井東が三島町に編入
昭和35年 4月 1日	茨木市太中・乙辻が三島町に編入
昭和37年12月 1日	三島町常備消防団本部発足する
昭和37年12月 1日	普通ポンプ車旧型 (フォード改) 1台配備
昭和39年 3月23日	水そう付消防ポンプ自動車購入
昭和40年 1月 1日	三島町消防本部・消防署開設する
昭和40年 6月23日	指令車購入
昭和40年11月29日	救急業務開始する
昭和40年11月29日	三島ライオンズクラブから救急車の寄贈を受ける
昭和41年10月15日	消防本部（署）庁舎建設 鉄筋コンクリート造2階建延534.38m ²
昭和41年11月 1日	摂津市制施行 摂津市消防本部・消防署となる
昭和41年11月 1日	摂津市防火安全協会結成する
昭和42年 2月 4日	普通消防ポンプ自動車購入
昭和43年 2月26日	救急車(メトロポリタン) 購入
昭和45年 3月12日	広報車購入
昭和45年10月 1日	摂津市消防署千里丘出張所開設する
昭和45年10月 1日	日本万国博覧会協会から普通消防ポンプ自動車 救急車の寄贈を受ける
昭和45年11月14日	三島ライオンズクラブから赤バイの寄贈を受ける
昭和46年12月31日	年間救急出場件数1,000件を突破する
昭和47年 3月24日	はしご付消防ポンプ自動車(24m級) 購入
昭和48年 4月26日	大阪府モーターボート競走会から救急車の寄贈を受ける
昭和48年12月21日	小型動力ポンプ付水そう車(6,000L) 購入
昭和49年 4月18日	指令車(トヨペットクラウンバン)購入
昭和50年 3月 7日	摂津市消防署千里丘出張所建設 鉄筋コンクリート造 2階建延260.702m ²

昭和50年12月 9日	緊急指令装置（C型）通信指令台設置
昭和52年12月 1日	摂津市消防署鳥飼出張所建設 鉄筋コンクリート造平屋建延236. 50m ²
昭和53年 2月 24日	救急車購入
昭和54年12月12日	普通ポンプ自動車購入
昭和55年 4月 1日	消防救助隊発足する
昭和56年 2月 8日	摂津市新八防自治会婦人部防火クラブ結成する
昭和56年11月 6日	日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
昭和58年11月12日	摂津市消防協力会結成する
昭和59年 6月 6日	査察車購入
昭和60年10月 1日	消防本部会議室増築 延210. 00m ²
昭和60年12月11日	大阪府モーターボート競走会から救急車の寄贈を受ける
昭和60年12月31日	年間救急出場件数2, 000件を突破する
昭和61年 5月12日	摂津市防火安全協会から指揮車の寄贈を受ける
昭和62年 3月15日	消防緊急情報システム導入 (指令装置Ⅱ型、地図検索装置、電子交換機等)
昭和62年 8月25日	摂津ひかり幼稚園幼年消防クラブ結成する
昭和62年 8月28日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受ける
昭和63年 3月30日	大阪府共済農業共同組合連合会から救急車の寄贈を受ける
昭和63年 9月28日	普通消防ポンプ自動車購入
昭和63年10月 1日	摂津市消防署味生出張所建設 鉄筋コンクリート造2階建延343. 33m ²
昭和63年10月 8日	はしご付消防自動車（30m級スーパージャイロラダー）購入
昭和63年10月11日	桃園興業から消防緊急情報システムの寄贈を受ける
昭和63年12月10日	大阪府モーターボート競走会から救急車の寄贈を受ける
平成元年10月 1日	摂津市別府婦人防火クラブ結成する
平成元年11月 6日	普通消防ポンプ自動車購入
平成 2年11月23日	摂津ライオンズクラブから査察車の寄贈を受ける
平成 2年12月25日	救助工作車（Ⅱ型）購入、救助資器材整備
平成 3年 8月 7日	日本消防協会から救急車の寄贈を受ける
平成 3年11月16日	本部（署）庁舎完成 新庁舎にて業務開始する 鉄筋コンクリート造5階建延2, 221. 53m ²
平成 4年10月27日	化学消防ポンプ自動車（I型）購入
平成 5年12月 7日	水そう付消防ポンプ自動車（II型2, 000L）購入

平成 6年12月19日	高規格救急車購入、救急資器材整備
平成 7年 1月 1日	高規格救急車業務開始する
平成 7年 5月27日	消防庁長官から感謝状を授与される
平成 7年 9月29日	査察車購入
平成 8年 4月24日	摂津市防火安全協会から指揮車の寄贈を受ける
平成 8年 4月24日	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の寄贈を受ける
平成 8年11月20日	普通ポンプ自動車購入
平成 9年 3月 3日	大阪府共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受ける
平成 9年 3月31日	元消防副団長 寺田種三氏から軽公用車の寄贈を受ける
平成11年12月31日	年間救急出場件数3,000件を突破する
平成12年 3月 1日	新摂津市消防緊急情報システム運用開始する
平成12年11月17日	摂津ライオンズクラブから査察車の寄贈を受ける
平成12年12月 7日	高規格救急車購入 救急資器材整備
平成14年 4月 1日	元消防団長奥野實氏から消防軽作業自動車の寄贈を受ける
平成14年 4月 1日	摂津市婦人防火クラブ連絡会結成する
平成15年 9月19日	作業用トラック購入
平成16年 3月25日	味生ポンプ車購入
平成17年 2月14日	日本赤十字社摂津市地区からエアーテント一式、救命ボートの寄贈を受ける
平成17年 8月25日	㈱美和製作所から指揮車の寄贈を受ける
平成17年 9月30日	高規格救急車購入、救急資器材整備
平成17年10月28日	千里丘ポンプ車購入
平成18年 5月19日	摂津市防火安全協会から指揮支援車の寄贈を受ける
平成18年 8月25日	㈱美和製作所から査察車の寄贈を受ける
平成18年11月13日	(社)摂津市シルバー人材センターボランティアグループから煙体験ハウス一式の寄贈を受ける
平成18年12月11日	救助工作車（Ⅱ型）購入、救助資器材整備
平成18年12月31日	年間救急出場件数4,000件を突破する
平成19年 8月24日	㈱美和製作所から二輪自動車、無線機、自動体外式除細動器の寄贈を受ける
平成20年10月15日	はしご付消防ポンプ自動車(30m級) 購入
平成21年 4月 1日	摂津市三宅地区女性防火クラブ結成する
平成21年 5月22日	元消防団長角修氏並びに元消防団副団長倉場光治氏から応接

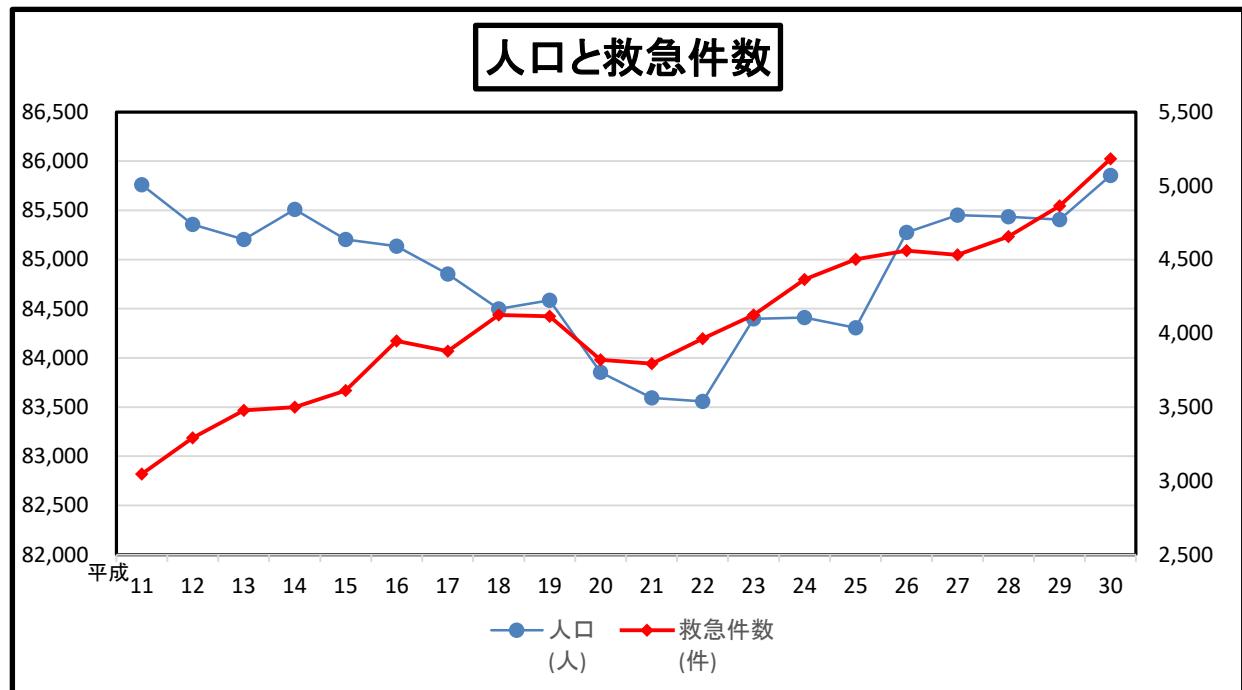
	チエアー・テーブル一式の寄贈を受ける
平成21年11月27日	高規格救急車購入、救急資器材整備
平成21年12月24日	水そう付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入
平成22年 3月31日	元消防団長前川忠義氏から原動機付自転車の寄贈を受ける
平成24年11月15日	消防ポンプ自動車購入
平成24年11月15日	高規格救急車購入、救急資器材整備
平成24年12月13日	災害対応特殊水そう付消防ポンプ自動車（I-B型）購入
平成25年 8月 9日	軽貨物自動車購入
平成25年12月12日	摂津ライオンズクラブからイージーアップテント3式の寄贈を受ける
平成26年 3月31日	前消防団長樋下安之氏から絵画の寄贈を受ける
平成26年 10月2日	摂津ライオンズクラブからイージーアップテント3式の寄贈を受ける
平成26年12月11日	高規格救急車購入、救急資器材整備
平成26年12月16日	一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽消防自動車の寄贈を受ける
平成28年 4月 1日	吹田市・摂津市消防指令センターの運用を開始する
平成28年 4月 6日	ダイキン工業株式会社淀川製作所から加湿空気清浄器3台の寄贈を受ける
平成28年 5月12日	摂津市防火安全協会から小型乗用自動車（日産セレナ）の寄贈を受ける
平成29年 2月21日	高規格救急車購入、救急資器材整備
平成30年 3月28日	化学消防ポンプ自動車購入

人口と消防現況の推移

平成30年12月31日

年	人口 (人)	世帯数 (世帯)	消防職員数 (人)	消防団員数 (人)	火災件数 (件)	救急件数 (件)
11	85,760	33,712	92	339	65	3,046
12	85,355	33,939	92	338	31	3,290
13	85,205	34,295	92	336	27	3,477
14	85,509	34,697	93	340	46	3,498
15	85,204	34,958	93	337	28	3,611
16	85,135	35,346	92	331	41	3,949
17	84,853	35,606	93	337	39	3,879
18	84,498	35,862	92	335	35	4,123
19	84,586	36,033	92	338	31	4,116
20	83,852	36,518	92	334	26	3,820
21	83,593	36,661	90	378	33	3,793
22	83,558	36,875	93	385	18	3,964
23	84,396	37,536	92	391	24	4,123
24	84,409	37,754	89	388	32	4,365
25	84,307	38,013	91	388	14	4,501
26	85,275	38,822	92	386	18	4,559
27	85,451	39,112	93	395	17	4,531
28	85,434	39,637	92	403	18	4,655
29	85,404	40,010	92	406	27	4,863
30	85,855	40,543	90	411	18	5,183

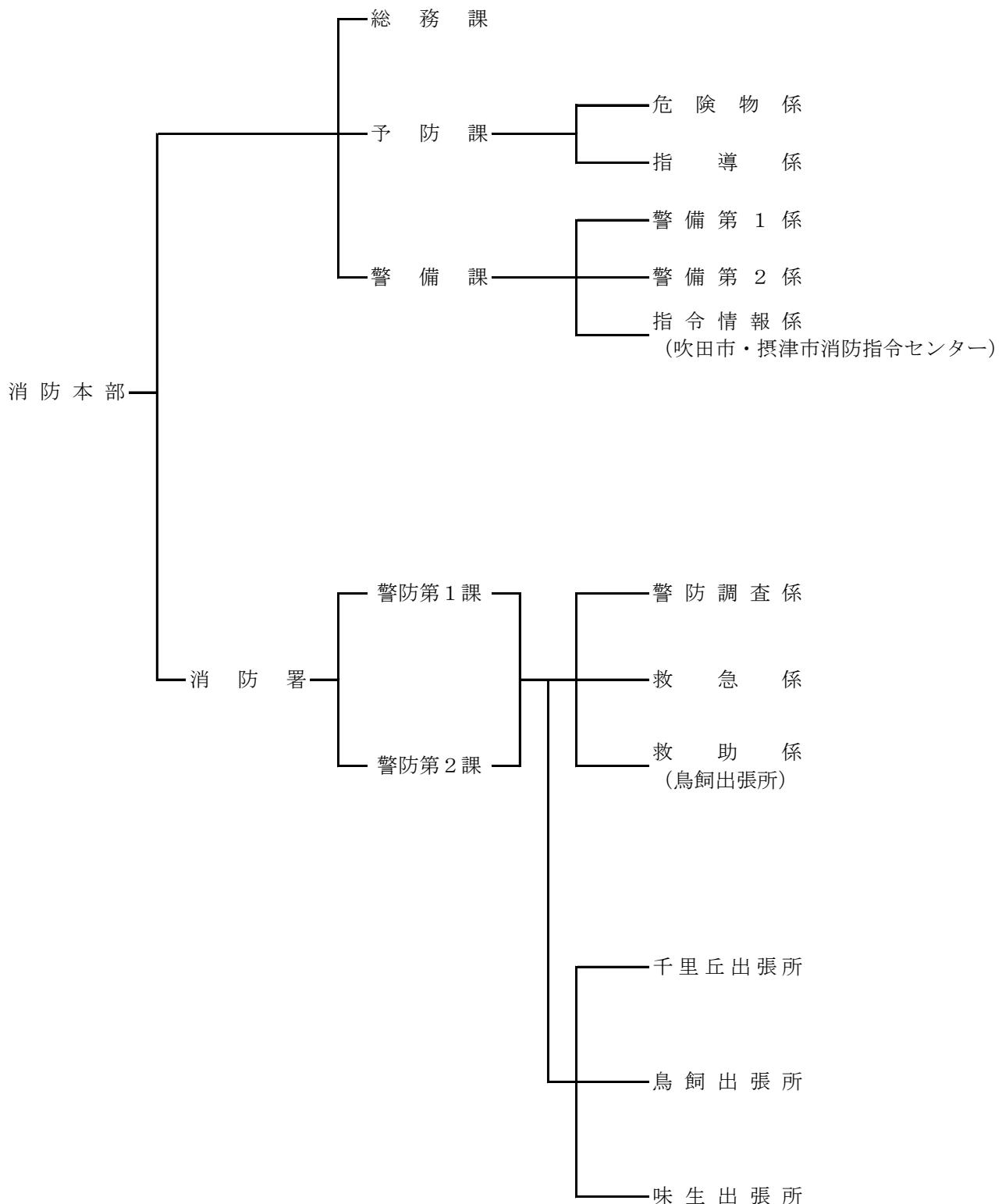
※消防職員数については、再任用（短時間勤務）を含まず



總務編

摂津市消防本部組織図

平成30年4月1日



庁舎概要

摂津市消防本部（署）

所 在 地	摂津市三島一丁目1番2号
構 造	鉄筋コンクリート造 5階建
建 物 延 面 積	2,221.530m ²
竣 工	平成3年11月
敷 地 面 積	1,180.200m ²

摂津市消防署千里丘出張所

所 在 地	摂津市千里丘三丁目14番48号
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
建 物 延 面 積	260.702m ²
竣 工	昭和50年3月
敷 地 面 積	330.560m ²

摂津市消防署鳥飼出張所

所 在 地	摂津市鳥飼野々一丁目24番5号
構 造	鉄筋コンクリート造 平屋建
建 物 延 面 積	236.500m ²
竣 工	昭和52年12月
敷 地 面 積	851.400m ²

摂津市消防署味生出張所

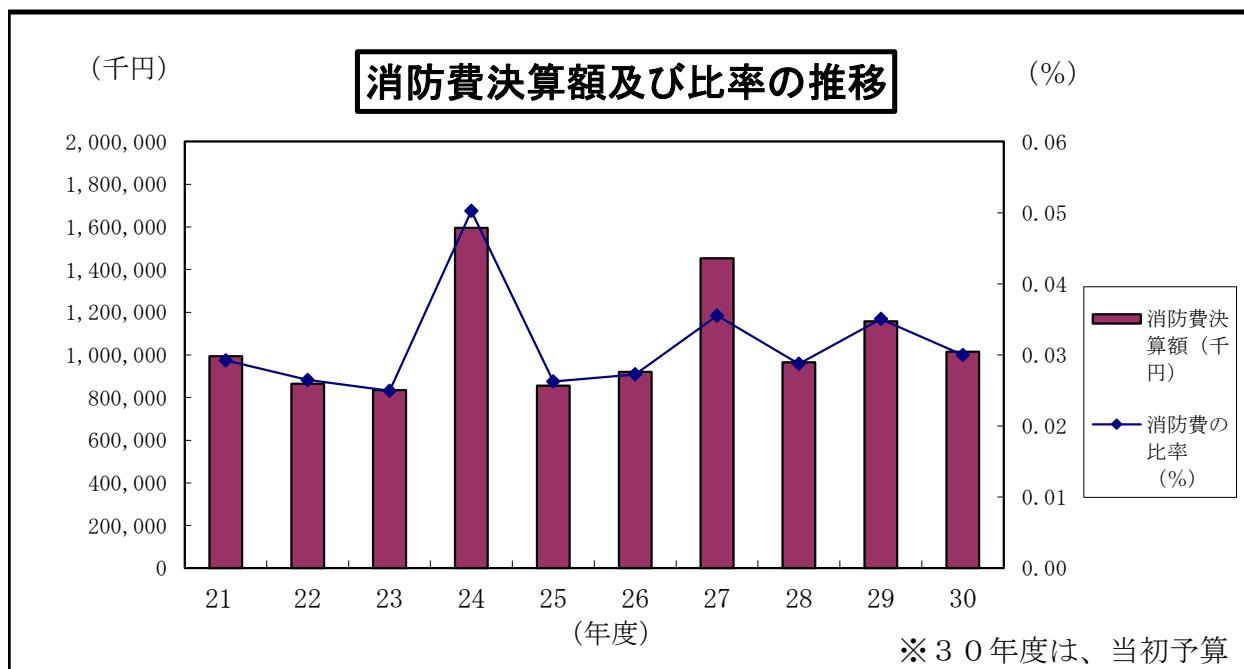
所 在 地	摂津市別府一丁目20番5号
構 造	鉄筋コンクリート造 2階建
建 物 延 面 積	343.330m ²
竣 工	昭和63年10月
敷 地 面 積	660.000m ²

消防予算

一般会計予算と消防費

区分 年度	一般会計歳出決算額（千円）	消防費決算額（千円）	消防費の比率（%）
21	33,996,755	993,766	2.92%
22	32,683,258	865,001	2.65%
23	33,457,125	834,809	2.50%
24	31,750,677	1,595,624	5.03%
25	32,570,219	856,045	2.63%
26	33,770,057	920,975	2.73%
27	40,856,228	1,452,524	3.56%
28	33,593,359	966,077	2.88%
29	33,001,663	1,156,831	3.51%
30	33,814,000	1,014,785	3.00%

※ 30年度は、当初予算



当初予算

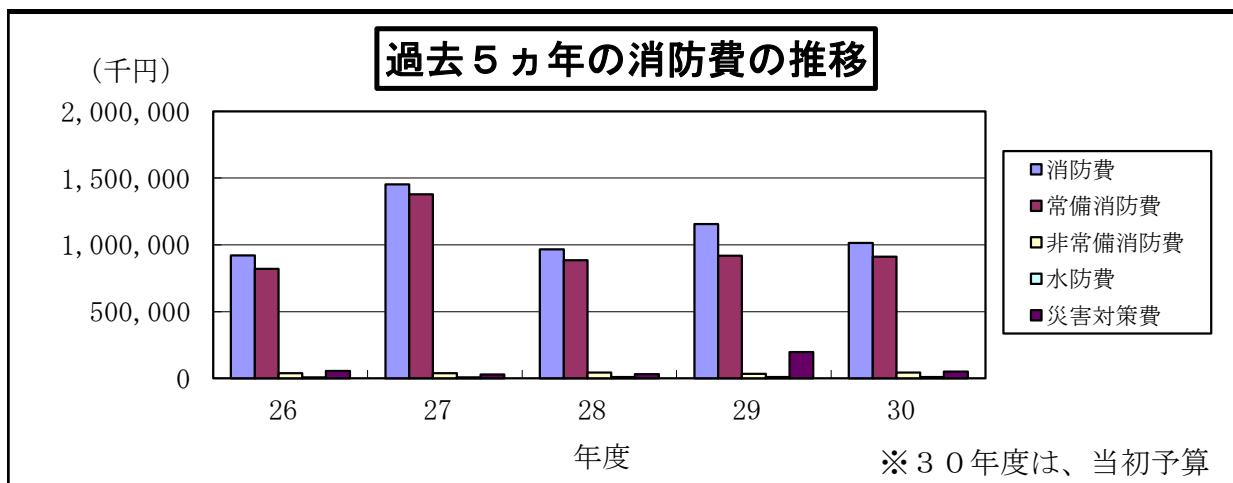
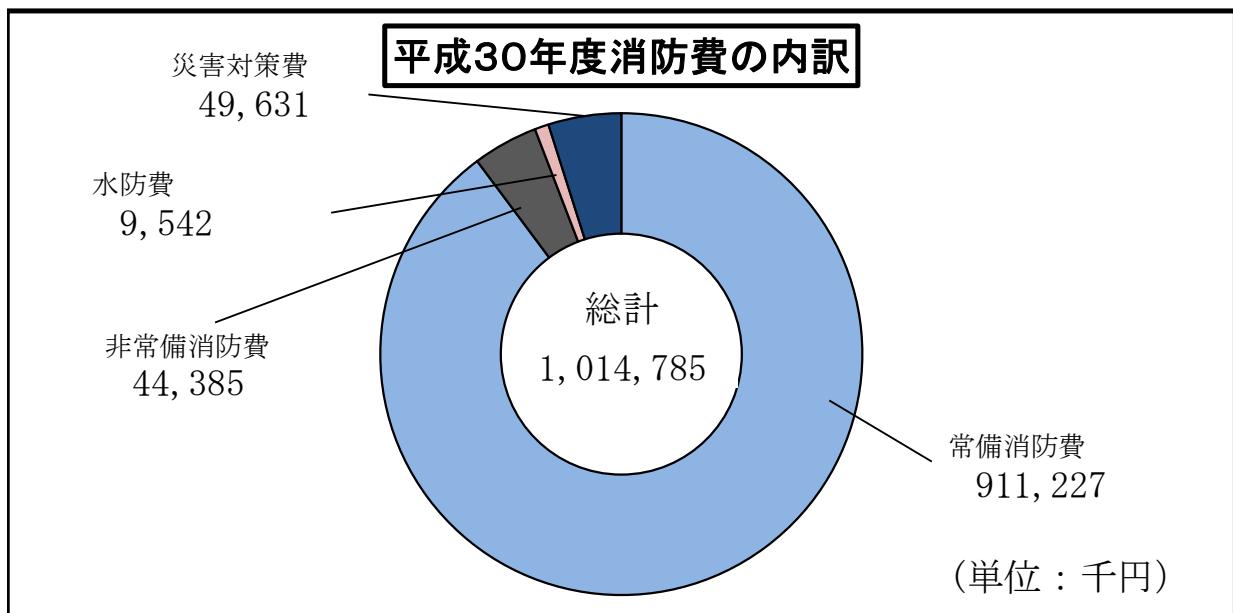
区分 年度	一般会計(千円)	消防費(千円)	一般会計に対する 消防費の比率(%)	市民1人当たり の割合(千円)	1世帯当たり の割合(千円)
25	32,473,232	890,653	2.7	10.6	23.4
26	33,344,115	949,689	2.8	11.1	24.5
27	35,273,000	1,601,692	4.5	18.7	41.0
28	34,740,000	1,027,440	3.0	12.0	25.9
29	33,927,000	1,250,784	3.7	14.6	31.3
30	33,814,000	1,014,785	3.0	11.8	25.0

※人口・世帯は6ページの値で計算

消防費の内訳

区分 年度	消防費(千円)	常備消防費(千円)	非常備消防費(千円)	水防費(千円)	災害対策費(千円)
21	993,766	909,999	51,695	12,593	19,479
22	865,001	784,116	51,496	12,167	17,222
23	834,809	753,868	39,529	17,499	23,913
24	1,595,624	887,770	39,919	8,926	659,008
25	856,045	765,557	35,373	7,573	47,542
26	920,975	819,329	39,303	7,487	54,857
27	1,452,524	1,378,077	37,237	7,399	29,811
28	966,077	884,367	42,071	8,496	31,143
29	1,156,831	917,350	33,793	9,504	196,183
30	1,014,785	911,227	44,385	9,542	49,631

※ 30年度は、当初予算



消防職員の配置状況

平成30年4月1日

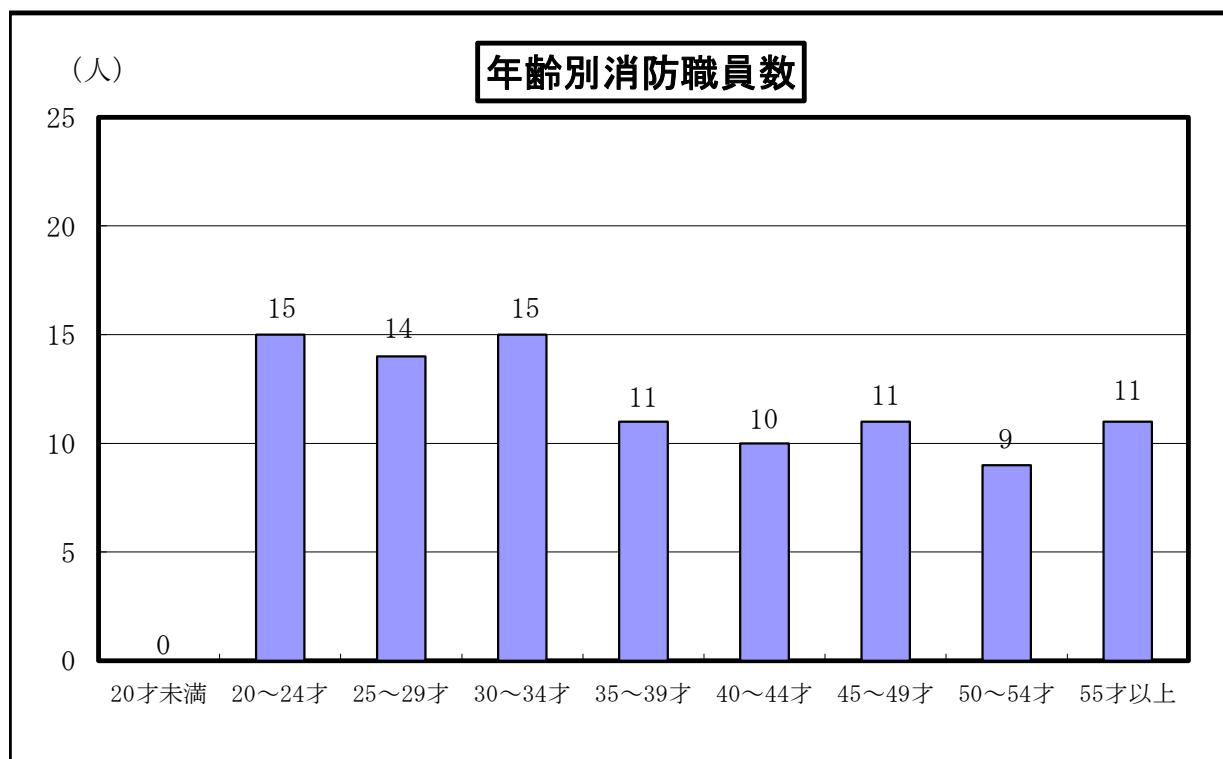
階級別 所属別		消防 司令 長	消防 司令 令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	合 計
職員数		1	13	27	28	3	24	96
消防本部	消防長	1						1
	次長		1					1
	総務課		2	2	1			5
	予防課		2	3	3			8
	警備課		2	6	6	2	4	20
	うち 指令センター勤務		(1)	(2)	(3)			(6)
消防署	署長		(1)					0
	警防第1課		3	4	6		4	17
	警防第2課		3	4	5	1	3	16
	千里丘出張所			2	2		4	8
	鳥飼出張所 (救助隊)			4	2		6	12
	味生出張所			2	3		3	8

表中の（ ）は再掲
※再任用（短時間勤務）を含む

消防職員の年齢

平成30年4月1日

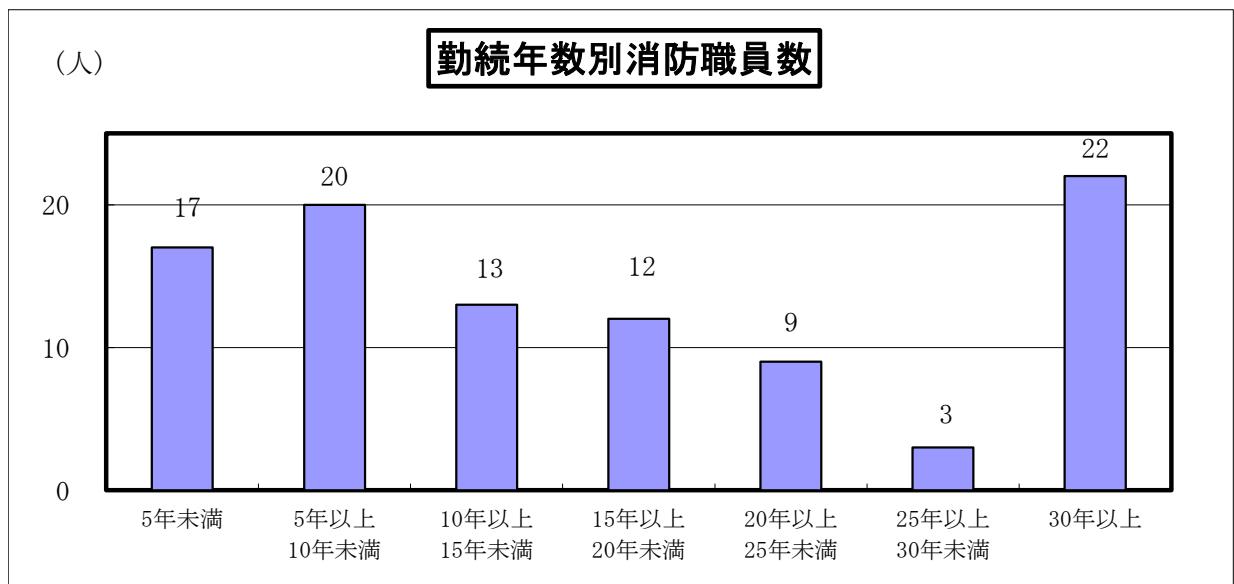
年齢 階級	消防司令長	消防司 令	消防司令補	消防士 長	消防副士長	消防士	計	割合 (%)
20才未満							0	0.0
20～24才						15	15	15.6
25～29才				6		8	14	14.6
30～34才			2	9	3	1	15	15.6
35～39才			7	4			11	11.5
40～44才		1	9				10	10.4
45～49才		5	5	1			11	11.5
50～54才		4	4	1			9	9.4
55才以上	1	3		7			11	11.5
計	1	13	27	28	3	24	96	100.0
平均年齢	56.0	50.7	42.4	39.6	31.7	24.2	37.9	



消防職員の勤続年数

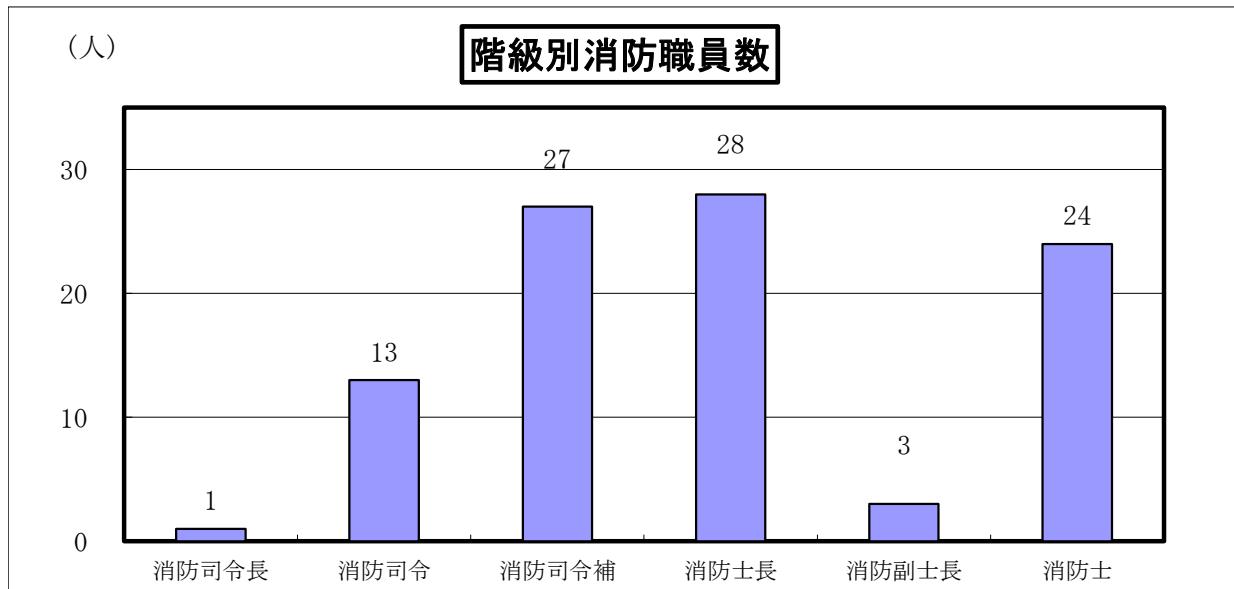
平成30年4月1日

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
17	20	13	12	9	3	22	96



消防職員の階級

消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
1	13	27	28	3	24	96



委託教育派遣状況

教養種別		階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
大阪府立消防学校	専科教育	警防科				1			1
		特殊災害科			1				1
		火災調査科			2				2
		予防科 防火查察課程				1			1
		予防科 消防用設備備程課			1				1
		救助科						2	2
	特別教育	実体験型災害訓練修習			1	2			3
	初任教育							3	3
専門学校	指揮研修			2					2
	火災調査研修				1				1
	火災調査指導者育成研修 (電気・車両・基本)				1				1
	指導救命士養成課程				1				1
	救急救命士 養成課程				1				1
	救急救命士 ビデオ喉頭鏡講習							2	2
	救急救命士 心肺停止前静脈路確保、血糖測定、 ブドウ糖溶液投与講習				2			1	3
消防大学校	総合教育	幹部科			1				1
病院急救実習士	再教育病院実習				6	3		2	11
	就業前病院実習					1		1	2
	気管挿管病院実習					1		1	2
	ビデオ喉頭鏡病院実習					2			2

消防職員特殊技能等取得状況

平成30年4月1日

区分	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	割合(%)
職 員 数	1	13	27	28	3	24	96		
救 急 救 命 士		3	11	10		4	28	29.2	
大 型 自 動 車 免 許		12	27	24	3	9	75	78.1	
中 型 自 動 車 免 許 (11t ま で)						9	9	9.4	
中 型 自 動 車 免 許 (8t ま で)	1	1		3			5	5.2	
普 通 自 動 車 免 許				1		7	8	8.3	
自 動 二 輪 免 許	1	5	19	14	1	11	51	53.1	
自 動 車 整 備 士				1			1	1.0	
1 級 小 型 船 舶 操 縱 免 許				1	1		2	2.1	
2 級 小 型 船 舶 操 縱 免 許		5	20	10		7	42	43.8	
特 殊 小 型 船 舶 操 縱 免 許		1	14	6		8	29	30.2	
潜 水 士 資 格		6	18	8	1	8	41	42.7	
フ ォ 一 ク リ フ ト 運 転 技 能		1	3	1			5	5.2	
車 両 系 建 設 機 械 (整 地 等)		1	4				5	5.2	
車 両 系 建 設 機 械 (解 体)		1	3				4	4.2	
移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能		5	20	9		6	40	41.7	
玉 掛 技 能		5	20	10	1	6	42	43.8	
ガ ス 溶 接 技 能		6	20	7		4	37	38.5	
ア 一 ク 溶 接 技 能		5	20	7		5	37	38.5	
足 場 組 み 立 て 作 業 主 任 者		5	13	2			20	20.8	
危 険 物 取 扱 者 (乙 4)		2	3	1			6	6.3	
第 2 種 酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者		3	11	2		3	19	19.8	
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者		2	2	1			5	5.2	
高 壓 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 (丙 種)		3	5				8	8.3	
第 一 種 衛 生 管 理 者		1	4				5	5.2	
第 一 種 自 家 発 電 設 備 専 門 技 術 者		1					1	1.0	
特 殊 電 気 工 事 資 格 者		1					1	1.0	
防 火 対 象 物 点 檢 資 格 者		2	3				5	5.2	
予防 技術 資格者	防 火 査 察 専 門 員		4	2	1		7	7.3	
	消 防 用 設 備 等 専 門 員		1	2			3	3.1	
	危 険 物 専 門 員		1	2	1		4	4.2	
消 防 設 備 士			5	2			7	7.3	
第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	1	9	23	11	1	3	48	50.0	
防 災 士			2	2			4	4.2	

警備編

消防相互応援協定

消防相互応援協定は、消防組織法第39条の規定に基づき隣接市等と相互に応援協定を結び、広域にわたる災害時及び特殊災害時における消防力を確保し、被害を最小限度に防止しようとするものである。

消防相互応援協定状況

消防相互応援協定名	締 結 年 月 日	協 定 締 結 市 町 村	協 定 の 内 容
茨木市・摂津市 消防相互応援協定	昭 和 40 年 2 月 1 日	茨 木 市	火災・救急・その他 の消防業務
吹田市及び摂津市における 消防相互応援協定	昭 和 40 年 4 月 1 日	吹 田 市	火災・救急・その他 の消防業務
大阪府北ブロック 消防相互応援協定	昭 和 40 年 6 月 22 日	吹田市 守口市 高槻市 枚方市 茨木市 寝屋川市 門真市 大東市 四條畷市 交野市 島本町 守口市門真市消防組合 枚方寝屋川消防組合	火災・救急・その他 の消防業務
大阪市・摂津市 消防相互応援協定	昭 和 40 年 12 月 1 日	大 阪 市	火災・救急・その他 の消防業務
摂津市・東大阪市 消防相互応援協定	昭 和 51 年 3 月 22 日	東 大 阪 市	近畿自動車道内における火災・救急 その他の消防業務
大阪府下広域 消防相互応援協定	昭 和 63 年 9 月 1 日	府下常備市町村	大 規 模 灾 害

消防緊急情報システム等設備一覧

設 備 名	数 量
携帯無線機	20台
出張所用発動発電機	3台
無線画像電送装置(MCA)	1式
400MHz帯携帯型無線電話機	50台
庁舎監視カメラ(消防庁舎屋上用)	1式
署所端末装置	2台
リレーBOX	2台
指令装置	1式
指揮台	1台
表示盤	1式
無線統制台	1台
指令電送装置	1式
気象情報収集装置	1式
災害状況等自動案内装置	1台
順次指令装置	1式
音声合成装置	1台
出動車両運用管理装置	1式
システム監視装置	1台
電源設備	1式
統合型位置情報通知装置	1台
消防用高所監視施設	1式
多目的情報端末	1式
手書きメモ入力装置	1式
消防ネットワーク	1台
放送設備	1式
災害時要援護者対応装置	1式
駆け込み通報装置	1式
拡張台	6台
避雷設備	1式
本部・署所用情報表示盤	1式
消防OAシステム	1式
現場映像設備	1式
Web情報共有システム	1台
電話設備	1式
MDF(主配線盤)	1台
統制局設備	1式
空中線系設備	1式
電源設備	1式
移動局設備	1式

消防本部車両一覧

平成31年3月31日

配置	車両名	登録番号	車名	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	総重量 (kg)	燃料	定員	種別	登録年月日 交付年月日	ETC	ドライブ レコーダー	ポンプ級 別
本部	総務1	大阪580す9362	スズキ	3,390	1,470	1,640	1,040	ガソリン	4	軽	H19.5.31	○	—	—
	総務2	大阪503み7923	日産	4,680	1,690	1,860	2,100	〃	8	小型	H28.4.6	○	○	—
	予防1	大阪800す8471	トヨタ	4,470	1,690	2,100	2,235	〃	6	普通	H18.4.21	○	—	—
	予防2	大阪80あ1995	三菱	3,390	1,470	1,960	1,050	〃	4	軽	H12.11.17	○	—	—
本署	指揮1	大阪833ほ119	トヨタ	4,800	1,690	2,600	2,885	軽油	5	普通	H30.12.13	—	○	—
	司令1	大阪831せ119	〃	4,890	1,940	2,070	2,675	ハイオク	5	〃	H17.8.23	○	○	—
	はしご1	大阪831む119	日野	11,480	2,500	3,700	21,710	軽油	6	大型	H20.10.10	—	—	A-2
	本署T1	大阪830は13	〃	8,480	2,490	3,160	15,550	〃	6	〃	H21.12.24	○	○	A-2
	本署P1	大阪800す4595	いすゞ	5,700	1,900	2,850	5,195	〃	5	中型	H16.3.25	—	○	A-2
	トラック1	大阪800す3457	マツダ	4,690	1,690	2,220	3,145	ガソリン	3	普通	H15.9.26	—	○	—
	軽貨物1	大阪880ち1	三菱	3,390	1,470	1,990	1,460	〃	4	軽	H25.7.30	○	○	—
	救急1	大阪830た9901	トヨタ	5,650	1,890	2,490	3,185	〃	7	普通	H31.3.18	—	○	—
	救急2	大阪830ほ23	〃	5,620	1,890	2,490	3,165	〃	7	〃	H24.11.6	○	○	—
	救急3	大阪831す21	〃	5,650	1,890	2,500	3,165	〃	7	〃	H26.12.10	—	○	—
	救急4	大阪830さ9904	〃	5,650	1,890	2,490	3,205	〃	7	〃	H29.2.21	—	○	—
	消防バイク1	2大阪あ704	ホンダ	2,080	825	1,110	120	〃	2	中型バ	H19.8.9	—	—	—
	消防バイク2	2大阪あ705	〃	2,080	825	1,110	120	〃	2	〃	H19.8.9	—	—	—
	公用バイク1	摂津市公637	〃	1,700	660	1,405	1,120	〃	1	原付	H22.3.12	—	—	—
千里丘 出張所	千里丘P1	大阪800す7478	三菱	5,300	1,890	2,800	4,905	軽油	5	普通	H17.10.28	—	○	A-2
	トレーラー	大阪11ゆ10	スバルタン	4,400	1,800	990	600	—	—	—	H8.10.31	—	—	—
鳥飼 出張所	救助工作1	大阪831ぬ119	日野	7,740	2,300	3,250	10,610	軽油	6	中型	H18.12.7	—	○	—
	鳥飼T1	大阪830に31	〃	7,150	2,300	2,970	10,930	〃	6	〃	H24.12.12	○	○	A-2
	トレーラー	大阪11ゆ12	スバルタン	4,350	1,800	940	600	—	—	—	H8.10.31	—	—	—
	水上オートバイ用トレーラー	大阪832さ119	組立	4,060	1,690	1,710	710	—	—	—	H22.3.26	—	—	—
味生 出張所	味生S T1	大阪830て14	いすゞ	5,720	1,920	2,960	6,905	軽油	5	中型	H24.11.13	—	○	A-2
	化学1	大阪833に119	〃	7,040	2,300	3,110	10,990	〃	6	〃	H30.3.23	—	○	A-2
	トレーラー	大阪11ゆ13	スバルタン	4,360	1,820	970	560	—	—	—	H8.10.31	—	—	—

消防用機械器具保有状況

品 名		署 所 别	本 部	本 署	鸟 飼 出 张 所	千 里 丘 出 张 所	味 生 出 张 所
		合 計					
消 火 器 具	可 搬 式 放 水 砲 (一式)	3		2			1
	可 搬 式 放 水 銃 (一式)	6		2	1	1	2
	東 消 式 簡 易 発 砲 器 (一式)	2		1		1	
	泡 ノズル アタッチメント (MXフォームジェット)	8		2	1	1	4
	高 壓 噴 霧 放 水 銃 (インパルス)	2		2			
	大 容 量 送 水 シ ス テ ム	4		2	2		
消 火 薬 剤	合 成 界 面 活 性 剤 泡 L	1,960		580	150	160	1070
	C A F S 装 置 用 泡 L	620		300	200		120
防 護 具	耐 熱 服	4					4
	陽 壓 式 化 学 防 護 服	12			12		
	化 学 防 護 服	30		17	5	4	4
	耐 刃 防 護 衣	12		12			
	放 射 線 防 護 服	12			12		
	防 毒 マ ス ク	19		9	10		
	ア ス ベ スト 対 応 防じんマスク	95	36	31	12	8	8
	耐 電 手 袋	11		5	4	1	1
	耐 電 衣	4		2	2		
	耐 電 長 靴	4		2	2		
	耐 電 ズ ボ ン	4		2	2		
救 助 器 具	空 気 呼 吸 器	31		12	9	3	7
	酸 素 循 環 式 呼 吸 器	5			5		
	簡 易 呼 吸 器	2			2		
	エ ア ー ライ ン 装 置 (一式)	1			1		
	可 搬 式 ウ イ ン チ (一式)	4		2	1		1
	レ 斯 キ ュ ー シ ョ ッ ト	1			1		
	直 讀 式 張 力 計	2			2		
	緩 降 機	1			1		
	平 担 架	1			1		
	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	1			1		
	ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	4		4			
	か ぎ 付 は し ご	2		1	1		
	三 連 は し ご	7		2	2	1	2
	金 属 製 ワ イ ャ ー は し ご	1			1		
	救 助 用 ハ 一 ネ ス	2			2		
	シ ッ ト ハ 一 ネ ス	12			12		

品 名		署 所 别	本 部	本 署	鸟 饲 出 张 所	千 里 丘 出 张 所	味 生 出 张 所
合 計							
救 助 器 具	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1			1		
	救 助 用 縛 帯	2			2		
	サ バ イ バ 一 ス リ ン グ	1			1		
	滑 車	19			19		
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ (一 式)	1			1		
	大 型 油 壓 式 救 助 器 具 (一 式)	1			1		
	油 壓 式 救 助 器 具 (一 式)	1			1		
	送 排 風 機 (一 式)	1			1		
	救 助 用 安 全 マ ッ ト	2		1	1		
	救 助 用 工 具 (一 式)	1			1		
水 難 救 助 器 具	降 下 器	5			5		
	携 帯 用 コンクリート破壊器具(一式)	1			1		
	エ ツ ジ ロ 一 ラ 一	1			1		
	シ ー ト ベ ル ト カ ッ タ 一	6		5	1		
	ガ ラ ス カ ッ タ 一	7		5	1		1
	マンホール救助器具(一式)	1			1		
	簡 易 画 像 探 査 装 置 (一 式)	1			1		
	熱 画 像 直 視 装 置 (一 式)	1			1		
	除 染 シ ャ ワ 一	1				1	
	救 命 ゴ ム ボ ー ト (エンジン付)	3		1	1		1
救 急 器 具	救 命 ゴ ム ボ ー ト (手漕ぎ)	1				1	
	潜 水 器 具 (一 式)	7			7		
	ウ エ ツ ト ス 一 ツ	14			14		
	ド ラ イ ス 一 ツ	6			6		
	救 命 胴 衣	68		45	12	5	6
	水 中 投 光 器	14			14		
	救 命 浮 環	11		4	4	1	2
	救 命 浮 標	2			2		
	水 上 才 一 ト バ イ	1			1		
	水 難 救 助 艇	1			1		

品 名		署 所 別	本 部	本 署	鳥 飼 出 张 所	千 里 丘 出 张 所	味 生 出 张 所
合 計							
救 急 器 具	自動体外式除細動器(AED)	12		7	1	2	2
	ショートボード	6		1	3	1	1
	バックボード(一式)	5		4	1		
	新型インフルエンザ対策資機材 キヤップ*	1,500		1,500			
	新型インフルエンザ対策資機材 ボーグル	34		34			
	新型インフルエンザ対策資機材 マスク(N95)	1,500		1,500			
	新型インフルエンザ対策資機材 感染防止衣	1,500		1,500			
	SARS 対策資機材 足カバー	135		135			
破 壊 器 具	エンジンカッター	7		2	2	1	2
	アセチレンガス溶断器(一式)	1			1		
	アークエアー溶断器(一式)	1			1		
	チエーンソー	4		1	2	1	
	万能斧	30		13	11	2	4
	エンジン式削岩機(一式)	1			1		
	電動式削岩機(一式)	1			1		
	空気工具(一式)	1			1		
	空気鋸(一式)	1			1		
	ホリガンツール	1			1		
	ハンマードリル(一式)	1			1		
測 定 器 具	電動式鉄筋カッター(一式)	1			1		
	可燃性ガス測定器	7		2	2	1	2
	有毒ガス測定器	1			1		
	放射線測定器	4	1		3		
	放射線線量計	45	3	20	14	4	4
	超音波厚さ計	1	1				
	検電器	1		1			
	普通騒音計	1	1				
法 定 照 度 計	法定照度計	1	1				

品 名		署 所 别	本 部	本 署	鸟 飼 所	千 里 丘 出 张 所	味 生 出 张 所
		合 計					
そ の 他	加 压 排 煙 機	1			1		
	緊 急 防 災 工 具 (一 式)	6		1	2	1	2
	安 全 带	27		16	11		
	検 索 棒	3			3		
	ワ イ ヤ 一 口 一 プ	14		2	9	1	2
	ス リ ン グ ベ ル ト	11			11		
	発 動 発 電 機 (2 KW)	1		1			
	〃 (2 . 3 KW)	5		2	1	1	1
	〃 (6 0 0 W)	2		1		1	
	〃 (9 0 0 W)	6		2	2		2
	充 电 器	4		1	1	1	1
	空 気 充 填 機 (3 0 MPa)	1			1		
	エ ア 一 コン プ レ ッ サ 一	1		1			
	ガ レ 一 ジ ジ ャ ツ キ	1		1			
	サ ル ベ 一 ジ シ 一 ト	16		7	4	2	3
	ホ 一 ス バ ツ ク	8		3	2	1	2
	携 帯 警 報 器	86	29	29	12	8	8
	心 肺 蘇 生 用 訓 練 人 形 (成 人)	8		8			
	心 肺 蘇 生 用 訓 練 人 形 (小 児 用)	5		5			
	心 肺 蘇 生 用 訓 練 人 形 (幼 児 用)	5		5			
そ の 他	気 道 管 理 用 訓 練 人 形	1		1			
	救 助 訓 練 用 人 形	1			1		
	静 脈 注 射 用 モ デ ル	1		1			
	A E D ト レ 一 ナ 一	8		8			
	携 帯 電 話	11		8	1	1	1
	紫 外 線 殺 菌 装 置	1		1			
	簡 易 防 火 水 槽 (2 t)	2	2				
	〃 (1 0 t)	8		2	2	2	2
	蘇 生 訓 練 用 生 体 シ ミ ュ レ ー タ ー	2		2			
	エ ア 一 テ ン ト	2		2			
そ の 他	ス コ ツ プ	78		20	20	18	20
	バ ー ル	80		20	20	20	20
	手 引 の こ	77		19	20	20	18

ポンベ配備状況

品 名	署 所 別 合 計	本 部 署	本	鳥	千	味
				飼 出 張 所	里 丘 出 張 所	生 出 張 所
空 気 呼 吸 器 用 (軽 量) 15MPa 8.0リットル	20		7	6	1	6
〃 30MPa 7.0リットル	99		42	27	9	21
〃 30MPa 5.0リットル	7			7		
空 気 呼 吸 器 用 (鉄 製) 15MPa 8.0リットル	15		6	5	3	1
〃 15MPa 6.0リットル	3			3		
空 気 充 填 用 30MPa 50.0リットル	2			2		
潜 水 用 20MPa 11.5リットル	10			10		
高 壓 噴 霧 放 水 銃 (インパルス) 用 15MPa 4.0リットル	4		4			
循 環 式 酸 素 呼 吸 器 用 酸 素 15MPa 1.5リットル	10			10		
アセチレンガス溶断器用酸素 15MPa 3.5リットル	5			5		
アーケエアー溶断器用酸素 15MPa 7.0リットル	2			2		
救 急 車 積 載 呼 吸 管 理 用 酸 素 15MPa 10.0リットル	17		17			
〃 15MPa 2.0リットル	22		19	1	1	1
アセチレンガス溶断器用アセチレン 1.5MPa 3.6リットル	2			2		
合 計	218	0	95	80	14	29

消防水利の保有数

平成31年3月31日

区分			平成30年度	平成29年度	
消防水槽等	公設	100m ³ 以上	5	5	
		40m ³ ～100m ³ 未満	82	81	
		20m ³ ～40m ³ 未満	3	3	
		20m ³ 未満	2	2	
		小計・・・①	92	91	
	私設	100m ³ 以上	36	36	
		40m ³ ～100m ³ 未満	157	150	
		20m ³ ～40m ³ 未満	21	21	
		小計・・・②	214	207	
	その他	河川	6	6	
		プール	19	19	
		池	1	1	
		水槽	12	12	
		小計・・・③	38	38	
消火栓・・・④			1,811	1,806	
合計 (①+②+③+④)			2,155	2,142	

※ 「河川」・・・淀川・神崎川・安威川・大正川・山田川・番田水路

消防訓練指導状況

	①防火防災訓練		②救急法		③消防署見学	
	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数
4月	8	103	5	85		
5月	15	1,091	6	142	1	52
6月	16	1,095	7	180	5	248
7月	12	615	8	267		
8月	7	91	3	62	1	20
9月	19	1,136				
10月	24	2,116	1	19	4	348
11月	36	3,413	1	16	4	112
12月	17	1,533	3	87	2	77
1月	9	728	2	20		
2月	19	1,656	3	40		
3月	14	876	5	81	1	54
合計	196	14,453	44	999	18	911

備考

- ①防火防災訓練は、通報訓練、初期消火訓練、避難訓練等を含んだ総合訓練
- ②救急法は、主にAEDを使用した心肺蘇生法訓練
- ③消防署見学は、本署及び三出張所の見学

火 災 概 況

火災概況

1. 火 灾 件 数

平成30年中の火災件数は、18件となり、前年の27件と比較して9件減少する結果となつた。

その内訳については、「建物火災」15件（前年比3件減）、「その他火災」3件（前年比1件減）、「車両火災」0件（前年比5件減）であった。

2. 建 物 燃 損 床 面 積

建物燃損床面積は、2,772m²となり、前年の25m²と比較して2,747m²増加した。これは、建物火災1件当たりに換算すると185m²となり、前年の1m²と比較して184m²の増加となつた。

3. 損 害 額

火災による損害額は、368,292千円となり、前年の3,548千円と比較して364,744千円増加した。

火災1件あたりの損害額は20,461千円となり、前年の131千円と比較して20,330千円の増加となつた。

4. 火 灾 に よ る 死 傷 者

火災による死者は、1人（前年比増減なし）であった。

負傷者については、5人（前年比1人増）であった。

5. 出 火 原 因

出火原因は、「電灯・電話等の配線」が4件、「灯火」が2件、「溶接機・切断機」、「たばこ」、「ストーブ」、「焼却炉」、「火遊び」、「放火」が各1件、「その他・不明」が6件であった。

過去10年間の火災件数

年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
件数	33	18	24	32	14	18	17	18	27	18

平成30・29年の火災概況

平成31年4月1日

区分		平成30年 (A)	平成29年 (B)	増減 (A) - (B)
出火件数(件)		18	27	△ 9
火災種別	建物(件)	15	18	△ 3
	車両(件)		5	△ 5
	その他(件)	3	4	△ 1
焼損棟数(棟)		29	20	9
内訳	全焼(棟)	4		4
	半焼(棟)	3	2	1
	部分焼(棟)	3	4	△ 1
	ぼや(棟)	19	14	5
建物焼損床面積(m ²)		2,772	25	2,747
建物焼損表面積(m ²)		377	49	328
死者(人)		1	1	0
負傷者(人)		5	4	1
り災世帯数(世帯)		27	9	18
内訳	全損(世帯)	6		6
	半損(世帯)	1	1	0
	小損(世帯)	20	8	12
り災人員(人)		67	24	43
損害額合計(千円)		368,292	3,548	364,744
内訳	建物火災(千円)	368,291	2,201	366,090
	車両火災(千円)		1,288	△ 1,288
	その他火災(千円)	1	59	△ 58

(注) △は減少

火災種別・原因別発生状況

原因別		電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	灯	溶 接 機 ・ 切 断 機	た ば こ	ス ト ブ	焼 却 炉	火 遊 び	放 火	そ の 他 ・ 不 明	合 計
用途別		火									
建 物	住宅	1	1			1					3
	共同住宅			1				1			3
	工場			1						1	2
	作業場	1								1	2
	倉庫									1	1
	校舎	1									1
	遊戯場								1		1
	事務所	1									1
	納屋									1	1
	車両										0
その他の火災							1		2		3
合 計		4	2	1	1	1	1	1	1	6	18

月別火災発生状況

平成31年4月1日

区分 月別	発生件数 (件)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)
1月	2	45				1
2月	1	22				1
3月	1	4,760	1	3	197	30
4月	1					
5月						
6月	1	1				
7月	4	132,623			1,232	235
8月	1	190,363		1	1,056	
9月	4	24,129			168	110
10月	1	16,347			119	
11月	1	1		1		
12月	1	1				
合計	18	368,292	1	5	2,772	377

曜日別火災発生状況

火災種別 曜日別	建物火災	車両火災	その他火災	合計
日	2		2	4
月	4			4
火	1			1
水	2			2
木	3			3
金	2			2
土			1	1
不明	1			1
合計	15	0	3	18

覚知方法別火災発生状況

火災種別 覚知方法	建 物	車両	その他	合 計
1 1 9	7		3	10
加入電話	2			2
警察電話				0
事後聞知	5			5
その他	1			1
合 計	15	0	3	18

管轄別火災発生状況

火災種別 管轄別	建 物	車両	その他	合 計
鳥出張所	10		2	12
千里丘出張所	5			5
味出張所			1	1
合 計	15	0	3	18

火災による死傷者状況

死傷者 区分		火災種別						合計	
		建物		車両		その他			
		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
性別	男性	1	3					1	3
	女性		2					0	2
年齢別	0歳～10歳							0	0
	11歳～20歳							0	0
	21歳～30歳		2					0	2
	31歳～40歳							0	0
	41歳～50歳		1					0	1
	51歳～60歳							0	0
	61歳～70歳		2					0	2
	71歳～80歳	1						1	0
	81歳～90歳							0	0
	91歳以上							0	0
合計		1	5	0	0	0	0	1	5

時間帯別火災発生状況

火 災 種 別 時 間 帶	建 物 火 灾	車 両 火 災	その他の火災	合 計
0 時～1 時				0
1 時～2 時	2			2
2 時～3 時				0
3 時～4 時	1			1
4 時～5 時				0
5 時～6 時	1			1
6 時～7 時				0
7 時～8 時	2			2
8 時～9 時				0
9 時～10 時	1			1
10 時～11 時	2			2
11 時～12 時	1			1
12 時～13 時				0
13 時～14 時				0
14 時～15 時	1			1
15 時～16 時				0
16 時～17 時	1			1
17 時～18 時				0
18 時～19 時				0
19 時～20 時			1	1
20 時～21 時	1		2	3
21 時～22 時	1			1
22 時～23 時				0
23 時～24 時				0
不 明	1			1
合 計	15	0	3	18

管轄別警戒発生状況

活動内容 管轄別	危 害 の 排 除	虚 報	誤 報	火 災 外	そ の 他 の 消 防 活 動	管 外 応 援		合 計
						火 災	非 火 災	
鳥出張所	43		33	5	122			203
千里丘出張所	40		38	4	107			189
味出張生所	40		24	3	155			222
全署所					2			2
管 外	門真市						1	1
	高槻市					1		1
	吹田市						3	3
	広島県						1	1
合 計	123	0	95	12	386	1	5	622

時間帯別警戒発生状況

警 戒 種 別 時 間 帯	危 害 の 排 除	虚 報	誤 報	火 災 外	そ の 他 の 消 防 活 動	管 外 応 援	合 計
0 時～1 時	3		3		10		16
1 時～2 時	4		2		7		13
2 時～3 時	2		5		1		8
3 時～4 時			8		6		14
4 時～5 時	2		4		5		11
5 時～6 時	2		5		13		20
6 時～7 時	1		4	1	11		17
7 時～8 時	1		5		18		24
8 時～9 時	9		6	1	32		48
9 時～10 時	7		8		20	1	36
10 時～11 時	11		3		22		36
11 時～12 時	3		4	1	19	1	28
12 時～13 時	4		3		24		31
13 時～14 時	7		7	2	18	3	37
14 時～15 時	9		4	2	15		30
15 時～16 時	14			1	18		33
16 時～17 時	10		5	1	19		35
17 時～18 時	6		2		21		29
18 時～19 時	2		3		22		27
19 時～20 時	10		2	2	21	1	36
20 時～21 時	10		6		18		34
21 時～22 時	2		2		14		18
22 時～23 時	3		1	1	16		21
23 時～24 時	1		3		16		20
合 計	123	0	95	12	386	6	622

消防団火災出動状況

災害種別 時間帯	建物	車両	その他	合計
0時～1時				0
1時～2時				0
2時～3時				0
3時～4時				0
4時～5時				0
5時～6時	1			1
6時～7時				0
7時～8時	1			1
8時～9時				0
9時～10時	1			1
10時～11時	1			1
11時～12時				0
12時～13時				0
13時～14時				0
14時～15時				0
15時～16時				0
16時～17時				0
17時～18時				0
18時～19時				0
19時～20時				0
20時～21時				0
21時～22時				0
22時～23時				0
23時～24時				0
合計	4	0	0	4

消防団警戒出動状況

警 戒 種 別 時 間 帯	危 害 の 排 除	虚 報	誤 報	火 災 外	そ の 他 の 消 防 活 動	管 外 応 援	合 計
0 時～1 時							0
1 時～2 時			1				1
2 時～3 時							0
3 時～4 時			1				1
4 時～5 時							0
5 時～6 時							0
6 時～7 時							0
7 時～8 時							0
8 時～9 時							0
9 時～10 時			1				1
10 時～11 時			1				1
11 時～12 時				1			1
12 時～13 時							0
13 時～14 時							0
14 時～15 時							0
15 時～16 時							0
16 時～17 時							0
17 時～18 時							0
18 時～19 時			2				2
19 時～20 時							0
20 時～21 時							0
21 時～22 時			1				1
22 時～23 時				1			1
23 時～24 時							0
合 計	0	0	7	2	0	0	9

(参考)

焼損程度の区分

全 燃 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 70 %以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないもの

半 燃 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20 %以上のもので全燃に該当しないもの

部分燃 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20 %未満のものでぼやに該当しないもの

ぼ や 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10 %未満であり焼損床面積が 1 平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10 %未満であり焼損表面積が 1 平方メートル未満のもの又は収容物のみ焼損したもの

り災程度の区分

全 損 建物（収容物含む。）の火災損害額がり災前の建物の評価額の 70 %以上もの

半 損 建物（収容物含む。）の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20 %以上で全損に該当しないもの

小 損 建物（収容物含む。）の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20 %未満のもの

救急概況

救急概況

平成30年中の出場件数は、5,183件（前年比320件増）、搬送人員は4,743人（前年比294人増）であった。

1日あたりの出場件数は、14.2件（前年13.3件）、搬送人員は、13.0人（前年12.2人）である。

出場件数を事故種別でみると、1位 急病、2位 一般負傷、3位 交通事故の順であり、急病（前年比211件増）、一般負傷（前年比33件増）、交通事故（前年比19件増）いずれも増加している。

救急件数は、平成27年に6年ぶりに減少に転じたものの、平成28年から3年連続で増加となり、過去最多件数となった。依然として、高齢者（65歳以上）の搬送人員は2,665人（前年比219人増）と搬送人員全体の約56%を占め、高齢化社会を背景に今後も増加傾向で推移すると考えられる。また、不搬送は464件（前年比26件増）で出場件数の約9%を占めており、そのうち主な要因は、現場処置、死亡、拒否であった。

なお、傷病程度別では、軽症が2,957人（前年比199人増）と搬送人員全体の約62%を占めており、依然として高い数値を推移しているため、引き続き救急車適正利用の啓発活動を積極的に行わなければならない。

救急出場件数及び搬送人員等前年比較

種 別	平成30年	平成29年	増 減
出 場 件 数	5,183	4,863	320
不 搬 送	464	438	26
搬 送 人 員	4,743	4,449	294
転 院 搬 送	299	290	9

過去10年間の事故種別救急出場件数

年別 事故種別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
火 災	3	2	9	19	10	12	12	7	10	12
自然災害										15
水 難	2	5	5	4	11	4	6	7	8	7
交通事故	562	581	571	606	552	630	548	515	526	545
労働災害	77	59	73	93	75	91	99	94	85	103
運動競技	48	37	43	45	40	40	48	62	53	49
一般負傷	521	476	555	630	668	676	642	648	726	759
加 害	25	26	24	29	25	24	25	18	24	27
自損行為	34	38	36	29	26	22	29	19	21	24
急 病	2,260	2,412	2,455	2,535	2,673	2,664	2,706	2,877	3,018	3,229
そ の 他	転院搬送	214	258	296	275	316	304	316	289	290
	医師搬送									
	資機材等搬送	1								
	その他の	46	70	56	100	105	92	100	119	102
合 計	3,793	3,964	4,123	4,365	4,501	4,559	4,531	4,655	4,863	5,183

事故種別・曜日別出場件数

事故種別 曜日別	日	月	火	水	木	金	土	合計	
火 災	2	2		2	3	3		12	
自然災害		7	7		1			15	
水 難	2	1	1	2	1			7	
交通事故	59	61	90	84	83	89	79	545	
労働災害	7	13	19	17	21	12	14	103	
運動競技	20	1	5	5	7	1	10	49	
一般負傷	124	105	107	83	101	125	114	759	
加 害	7	1	7	4	3	3	2	27	
自損行為	3	4	1	7	3	3	3	24	
急 病	497	515	461	405	438	463	450	3,229	
そ の 他	転院搬送	15	49	43	46	47	53	46	299
	医師搬送								0
	資機材等搬送								0
	その他の	22	16	14	17	13	12	20	114
合 計	758	775	755	672	721	764	738	5,183	

事故種別・時間別出場件数

事故種別	時間別	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	合計	
		2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時		
火災	1	2	1	1	3	2					2			12	
自然災害				1	1	4	1	6	2					15	
水難			1		1		4			1				7	
交通事故	15	9	14	59	90	60	48	55	68	69	34	24		545	
労働災害	1	1	1	3	9	14	17	19	24	8	3	3		103	
運動競技					4	15	6	10	6	5	3			49	
一般負傷	39	17	20	47	78	94	82	68	98	76	82	58		759	
加害	6	1			1	5	1		2	2	4	5		27	
自損行為	1	1	1	1	2	5	1	3	4	3	1	1		24	
急病	196	121	152	208	363	379	328	281	287	316	313	285		3,229	
その他	転院搬送	3	3	1	2	25	91	53	21	37	36	17	10		299
	医師搬送														0
	資機材等搬送														0
	その他	11	7	7	9	8	5	3	11	9	15	12	17		114
合計	273	162	198	331	585	674	544	474	538	530	471	403		5,183	

月別・診療科目別搬送人員

月別 科 目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
内 科	184	159	125	116	123	128	214	187	131	150	129	152	1,798
循環器科	29	30	20	23	26	34	34	29	37	32	32	26	352
呼吸器科	8	17	7	5	6	11	12	11	17	6	6	8	114
小 児 科	30	15	16	13	11	9	27	13	22	15	22	15	208
新生児科	1								1				2
外 科	25	14	14	17	11	14	16	12	17	25	9	20	194
整形外科	81	62	79	63	70	78	65	65	78	74	64	89	868
脳神経外科	64	59	65	54	64	42	51	53	62	62	47	62	685
腹部外科										1			1
口腔外科			1		1	1	1	1		1		1	7
小児外科	1				1	1			1				4
産婦人科	4	1	9	9	6	4	9	6	5	8	6	6	73
泌尿器科	6	7	4	7	6	9	8	10	6	2	7	6	78
皮 膚 科							1						1
耳鼻咽喉科	2	4	1	1	4	1	1	1		3	4	4	26
眼 科	1		1	1	1	1	1	2	1		1	2	12
神経内科	3	3	1	5	5	4	5	3	1	6	5	4	45
精 神 科			3	3	1		3			1	1		12
消化器外科		2		5			3	3	1	2		1	17
消化器内科	15	18	22	10	19	27	8	22	20	28	28	29	246
その 他													0
合 計	454	391	368	332	355	364	459	418	400	416	361	425	4,743

事故種別・傷病程度別搬送人員

傷病程度別 ＼ 事故種別	死 亡	重 症	中等症	輕 症	その他	合計
火災				5		5
自然災害			4	8		12
水難						0
交通事故	1	15	76	417		509
労働災害		3	31	67		101
運動競技			9	40		49
一般負傷	3	8	180	503		694
加害			1	21		22
自損行為	2	4	4	2		12
急病	28	65	1,056	1,888		3,037
その他		2	294	6		302
合計	34	97	1,655	2,957	0	4,743

事故種別・年齢別搬送人員

年齢区分別 ＼ 事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災				3	2	5
自然災害				6	6	12
水難						0
交通事故		10	42	335	122	509
労働災害			1	78	22	101
運動競技			24	24	1	49
一般負傷		75	31	127	461	694
加害			2	15	5	22
自損行為				9	3	12
急病	1	155	57	957	1,867	3,037
その他	3	9	4	110	176	302
合計	4	249	161	1,664	2,665	4,743

普通救命講習実施状況

実施月	平成30年		平成29年	
	回数	受講人数	回数	受講人数
1月	2	27	4	92
2月	1	28		
3月	4	55	4	76
4月	4	69	3	61
5月	8	108	7	126
6月	2	18	4	62
7月	5	78	4	15
8月	5	58	3	30
9月	3	53	3	53
10月	3	47	1	18
11月	3	27	3	52
12月	2	47	3	49
合計	42	615	39	634

(参考)

傷病程度の分類

死 亡	初診時において死亡が確認されたもの
重 症	傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
軽 症	傷病の程度が入院を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

年齢の分類

新生児	生後28日未満の者
乳幼児	生後28日以上満7歳未満の者
少 年	満7歳以上満18歳未満の者
成 人	満18歳以上満65歳未満の者
高齢者	満65歳以上の者

救 助 概 況

救助概況

平成30年中の救助出動件数は61件（前年比6件増）、救助活動件数は40件（前年比2件増）、救助人員は27人（前年比増減なし）であった。

また、出動件数を事故種別でみると、建物等による事故23件、その他の事故14件、水難事故9件となっている。

救助出動件数の中で多くを占めている建物等による事故は近年上位になることが増えた。原因としては、怪我や病気等で動けなくなり建物内に閉じ込められるといった事案が過半数を占めており、独り暮らしの高齢者宅で発生することが多くある。これは、今後も高齢化社会を背景に増加することが予想されるため、家族へのこまめな連絡や近隣住人同士の声掛けの重要性を継続して啓発していくことが必要である。

救助出動状況前年比較

種 別	平成30年	平成29年	増 加
出 動 件 数	61	55	6
活 動 件 数	40	38	2
救 助 人 員	27	27	0

過去10年間の救助出動件数

年別 事故種別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
交 通 事 故	11	11	8	9	12	13	13	9	12	7
水 難 事 故	3	6	7	10	11	4	4	7	11	9
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故										
機 械 に よ る 事 故	1	1		4	2	2	2	1	1	7
建 物 等 に よ る 事 故	3	2	3	11	20	19	13	31	21	23
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故					1			1		1
破 裂 事 故										
そ の 他 の 事 故	3	4	4	14	19	15	9	9	10	14
合 計	21	24	22	48	65	53	41	58	55	61

救助活動状況

区分 事故種別	出動件数	活動件数	救助人員	出動人員			
				救助隊員	消防隊員	救急隊員	合計
交通事故	7	4	5	27	29	33	89
水難事故	9	3	2	32	55	27	114
風水害等 自然災害事故							0
機械による事故	7	6	7	28	27	6	61
建物等による事故	23	19	10	82	123	69	274
ガス及び酸欠事故	1	1	1	4	6	3	13
破裂事故							0
その他の事故	14	7	2	48	75	42	165
合計	61	40	27	221	315	180	716

事故種別出動車両

区分 事故種別	出 動 車 両							合 計
	救 助 工 作 車	ボ (水 槽 付 プ ル) 含 車	梯 子 車	化 学 車	指 揖 車	救 急 車	そ (の 司 他 令 の 車 車 含) 両	
交 通 事 故	7	11			5	11		34
水 難 事 故	8	16		1	9	9		43
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故								0
機 械 に よ る 事 故	5	7			1	2		15
建 物 等 に よ る 事 故	21	40			21	23		105
ガス及び酸欠事故	1	2			1	1		5
破 裂 事 故								0
そ の 他 の 事 故	12	24			13	14	1	64
合 計	54	100	0	1	50	60	1	266

救助隊訓練実施状況

基本訓練

訓練種目	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成	201	932	100時間30分
ロープ基本・応用訓練	19	72	19時間30分
検索救助訓練			
各種救助器具取扱訓練	69	271	48時間30分
各種救助事象想定訓練	204	1,025	393時間
その他の訓練	11	64	25時間
合計	504	2,364	586時間30分

総合訓練

年月日	内容
平成30年5月19日	平成30年度大阪府地域防災総合演習
平成30年10月10日	RESCUEネットワークOSAKAグループ訓練

通 信 指 令 概 況

通信指令概況

平成30年中の119番通報の受付件数は6,957件で、1日あたり約19.1件であった。

回線別では携帯電話からが3,882件（約56%）、IP電話からが1,939件（約28%）、NTT固定電話からが1,139件（約16%）であった。

なお、平成28年4月から消防体制の基盤の強化を目的に吹田市と消防指令センターを共同で運用しており、吹田市・摂津市全体での119番通報の受付件数は34,902件で1日あたり95.6件であった。

119番通報受付件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	2 (20)	1 (13)	4 (8)	1 (7)	1 (8)		18 (29)	2 (10)	10 (16)	2 (10)		1 (32)	42 (164)
救 急	416 (2,084)	367 (1,769)	332 (1,772)	296 (1,611)	320 (1,668)	359 (1,729)	440 (2,294)	388 (2,043)	361 (1,840)	371 (1,755)	345 (1,743)	373 (1,980)	4,368 (22,288)
救 助	4 (17)		1 (16)	1 (9)	3 (17)	2 (46)	4 (17)	2 (15)		3 (13)	1 (12)	1 (15)	22 (204)
警 戒	39 (202)	34 (137)	24 (125)	19 (104)	25 (107)	28 (150)	27 (156)	26 (112)	84 (325)	29 (103)	26 (155)	37 (152)	398 (1,828)
いたずら	1 (14)	6 (17)	8 (37)	6 (27)	4 (34)	6 (26)	4 (26)	6 (25)	14 (132)	7 (27)	5 (58)	6 (96)	73 (519)
間違い 通報	28 (101)	8 (76)	14 (93)	15 (91)	11 (77)	19 (109)	21 (108)	11 (93)	21 (112)	15 (81)	29 (100)	19 (114)	211 (1,155)
問わ せ	86 (378)	52 (246)	66 (297)	47 (240)	51 (245)	76 (351)	114 (376)	63 (271)	135 (520)	54 (251)	66 (266)	84 (353)	894 (3,794)
その他	64 (299)	55 (304)	56 (361)	48 (265)	52 (330)	88 (434)	87 (421)	59 (314)	106 (451)	91 (396)	81 (464)	70 (386)	857 (4,425)
回線 試験	2 (17)	12 (62)	7 (53)	12 (59)	8 (57)	7 (39)	16 (44)	2 (29)	4 (25)	9 (44)	6 (60)	7 (36)	92 (525)
合 計	642 (3,132)	535 (2,641)	512 (2,762)	445 (2,413)	475 (2,543)	585 (2,892)	731 (3,471)	559 (2,912)	735 (3,434)	581 (2,679)	559 (2,893)	598 (3,130)	6,957 (34,902)

※（ ）は指令センター全体の件数

119番回線別通報件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
NTT	110 (573)	114 (570)	95 (569)	79 (466)	79 (493)	87 (515)	106 (574)	91 (493)	134 (539)	88 (456)	78 (521)	78 (520)	1,139 (6,289)
IP	193 (990)	153 (813)	150 (797)	109 (641)	147 (751)	167 (823)	200 (962)	150 (810)	179 (988)	155 (821)	166 (893)	167 (914)	1,936 (10,203)
携 帯	339 (1,569)	268 (1,258)	267 (1,396)	257 (1,306)	249 (1,299)	331 (1,554)	425 (1,935)	318 (1,609)	422 (1,907)	338 (1,402)	315 (1,479)	353 (1,696)	3,882 (18,410)
合 計	642 (3,132)	535 (2,641)	512 (2,762)	445 (2,413)	475 (2,543)	585 (2,892)	731 (3,471)	559 (2,912)	735 (3,434)	581 (2,679)	559 (2,893)	598 (3,130)	6,957 (34,902)

※ () は指令センター全体の件数

救急安心センターおおさか摂津市件数

平成30年中、救急安心センターおおさかに通報があった件数は大阪府下で271,263件で、そのうち摂津市からの通報は2,278件、救急搬送に至った件数は36件であった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
病院案内	129	105	78	83	89	68	108	83	107	84	75	93	1,102
医療相談	102	70	84	86	85	95	106	89	88	79	92	99	1,075
救急搬送	7	3	1	5	4	1	2	2	3	4	2	2	36
その他	7	5	5	5	6	9	6	8	2	1	4	7	65
合 計	245	183	168	179	184	173	222	182	200	168	173	201	2,278

予防編

防火対象物数（棟数）（消防法第17条に基づく消防用設備等の設置対象物数）

防火対象物の区分		防 火 対 象 物 数							地下のみ C
		総 数 (A+B+C)	地上5階未満 (地下のみ除く) A	地上5階以上 B	小 計 (A+B)	うち地下 1 階	うち地下 2 階	うち地下 3 階	
1	イ	2	2		2	1			
	ロ	62	62		62	1			
2	イ	0			0				
	ロ	6	6		6				
	ハ	0			0				
	ニ	0			0				
3	イ	0			0				
	ロ	40	40		40	1			
4		100	99	1	100	1			
5	イ	5	4	1	5				
	ロ	973	792	181	973	18			
6	イ	14	13	1	14	1			
	ロ	16	16		16				
	ハ	54	52	2	54				
	ニ	8	8		8				
7		62	58	4	62	3			
8		1	1		1				
9	イ	0			0				
	ロ	3	3		3				
10		4	4		4				
11		27	27		27				
12	イ	621	606	15	621	6			
	ロ	0			0				
13	イ	70	67	3	70	1	1		
	ロ	0			0				
14		728	718	10	728	3			
15		356	335	21	356	18	3	1	
16	イ	227	167	60	227	13		1	
	ロ	88	66	22	88	4			
16の2		0			0				
16の3		0			0				
17		4	4		4				
合計		3,471	3,150	321	3,471	71	4	2	0

防火対象物査案件数

区分			実施件数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店その他類するもの	
	ロ	飲食店	23
4	百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗等		16
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他類するもの	1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1
6	イ	病院、診療所又は助産所	1
	ロ	老人短期入所施設、養護・特別養護老人ホーム等	1
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、保育所等	1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	
7	小・中・高・中等教育学校、高専、大学その他類するもの		
8	図書館、博物館、美術館その他類するもの		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他類する公衆浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		
11	神社、寺院、教会その他類するもの		3
12	イ	工場又は作業場	2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14	倉庫		2
15	前各項に該当しない事業場		
16	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	62
	ロ	複合用途防火対象物で上記以外のもの	9
16の2	地下街		
16の3	準地下街		
17	重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等		4
	合 計		128

消防用設備等設置検査実施状況 (消防法第17条の3の2に基づく検査件数)

防 対 象 の 区 分	火 物	消 防 用 設 備 等 設 置 檢 査	
		届 出 件 数	検 査 件 数
1	イ		
	ロ	1	1
2	イ		
	ロ	1	
	ハ		
	ニ		
3	イ		
	ロ	1	1
4		2	2
5	イ		
	ロ	21	21
6	イ	1	1
	ロ	6	6
	ハ	3	3
	ニ		
7		1	1
8			
9	イ		
	ロ		
10			
11			
12	イ	18	18
	ロ		
13	イ	3	3
	ロ		
14		19	18
15		11	9
16	イ	15	15
	ロ	2	2
16の2			
16の3			
17			
合計		105	101

消防用設備等点検結果報告件数

区分			件 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1
	ロ	公会堂又は集会場	46
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店その他類するもの	
	ロ	料理店	18
4	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等		58
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他類するもの	2
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	432
6	イ	病院、診療所又は助産所	11
	ロ	老人短期入所施設、養護・特別養護老人ホーム	8
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、保育所等	26
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	4
7	小・中・高・中等教育学校、高専、大学その他類するもの		61
8	図書館、博物館、美術館その他類するもの		
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他類する公衆浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		4
11	神社、寺院、教会その他類するもの		3
12	イ	工場又は作業場	228
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	36
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14	倉庫		316
15	前各項に該当しない事業所		166
16	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	85
	ロ	複合用途防火対象物で上記以外のもの	33
16の2	地下街		
16の3	準地下街		
17	重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等		4
合 計			1,545

防火管理

防火管理者資格取得講習会

甲種防火管理者 資格取得講習会	回 数	修了者数
	1	49

※摂津市では、1年に1回甲種講習会のみを行っている。

防火管理者等届出件数

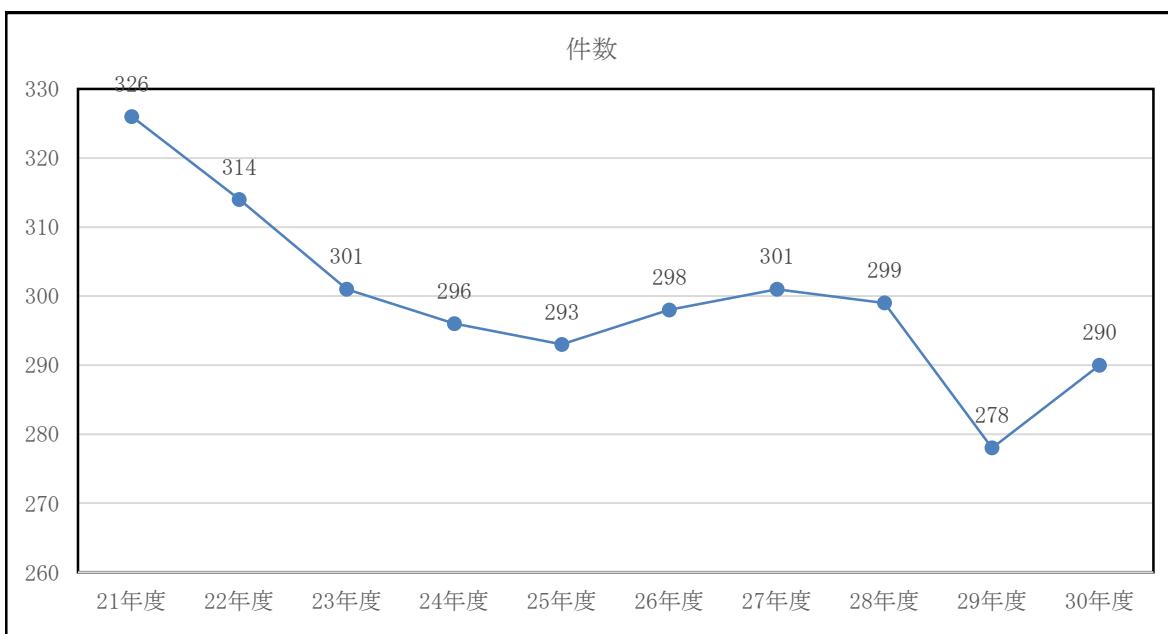
区分	選任届	解任届	消防計画作成届
届出件数	137	92	164

広報行事実施状況

行事	回数	参加人数
防火安全講演会	1	41
防火フェア	1	1,000

危険物

危険物施設数過去10年間の推移



危険物製造所等査案件数

区分	実施件数
製造所	6
屋内貯蔵所	27
屋外タンク貯蔵所	1
屋内タンク貯蔵所	3
地下タンク貯蔵所	6
移動タンク貯蔵所	28
屋外貯蔵所	1
給油取扱所	22
販売取扱所	
一般取扱所	8
合計	102

危険物製造所等許可申請件数

区分	施設数	許可		完成検査		廃止届
		累計	設置	変更	設置	
製造所	12			5		6
屋内貯蔵所	83		2	4	1	5
屋外タンク貯蔵所	17		5	5		
屋内タンク貯蔵所	6					
地下タンク貯蔵所	24		2		1	3
移動タンク貯蔵所	66		3	2	3	2
屋外貯蔵所	2					
給油取扱所	55			10		9
販売取扱所	1					
一般取扱所	24		4	7		3
合 計	290		16	33	5	25
						6

火を使用する設備等届出件数

区分	件 数
火を使用する設備等届出	49

危険物保安監督者選任・解任届出件数

区分	件 数
危険物保安監督者選任・解任届出	43

火薬類取締法 許可等施設数及び立入検査実施数

区分	許可等施設	立入検査数
火薬庫外貯蔵所	1	1
火薬類販売営業		
合計	1	1

高圧ガス保安法 許可等施設数及び立入検査実施数

区分	許可等施設	立入検査数
高圧ガス製造者(一種)	4	3
高圧ガス製造者(一種)小規模非連結	15	2
高圧ガス製造者(二種)	14	5
高圧ガス製造者(一種冷凍)	3	
高圧ガス製造者(二種冷凍)	53	20
高圧ガス貯蔵所(一種)	1	
高圧ガス貯蔵所(二種)	9	4
特定高圧ガス消費事業者	2	5
高圧ガス販売事業者	50	18
高圧ガス容器検査所	5	
合計	156	57

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律

許可等施設数及び立入検査実施数

区分	許可等施設	立入検査数
液化石油ガス販売事業所	5	1
液化石油ガス保安機関	5	1
特定液化石油ガス設備工事事業所	9	3
合計	19	5

火薬類取締法 許可等申請及び届出件数

区分	件 数
火薬類取締法 申請関係	
火薬類取締法 届出関係	

高圧ガス保安法 許可等申請及び届出件数

区分	件 数
高圧ガス保安法 申請関係	59
高圧ガス保安法 届出関係	198

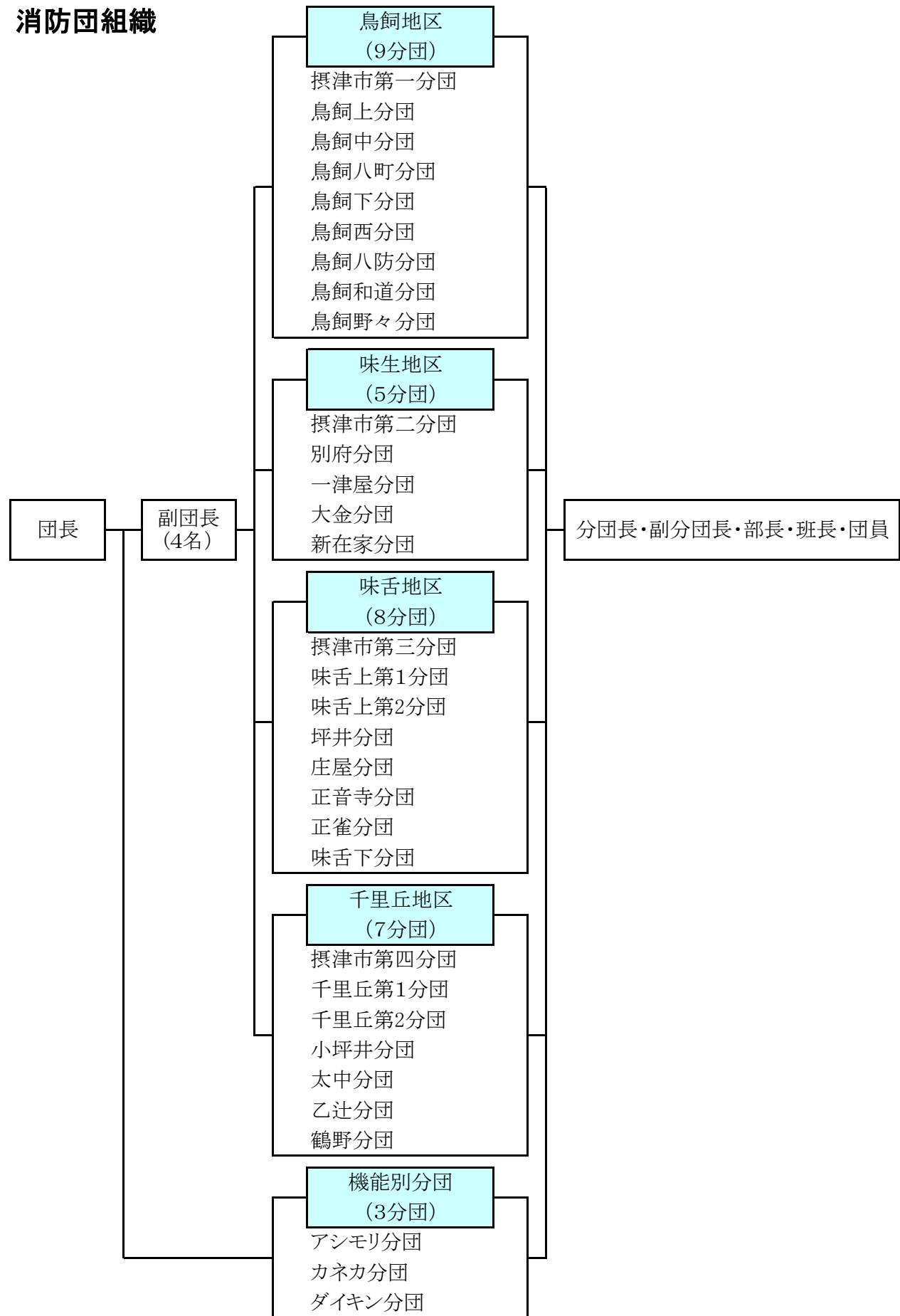
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律

許可等申請及び届出件数

区分	件 数
液化石油ガスの保安の確保及び 取引の適正化に関する法律 申請関係	3
液化石油ガスの保安の確保及び 取引の適正化に関する法律 届出関係	18

消 防 団 編

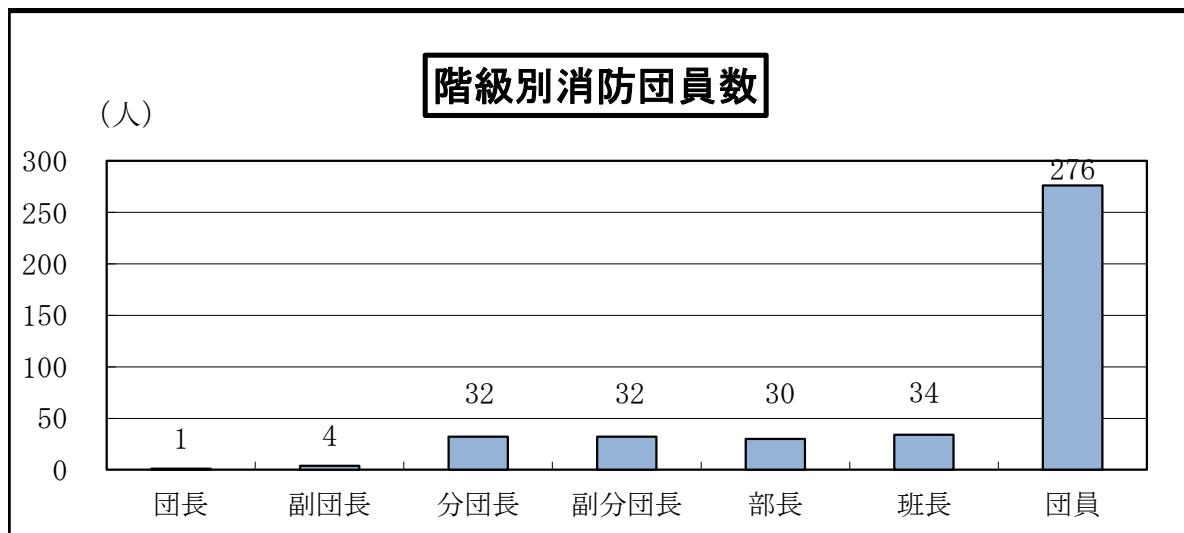
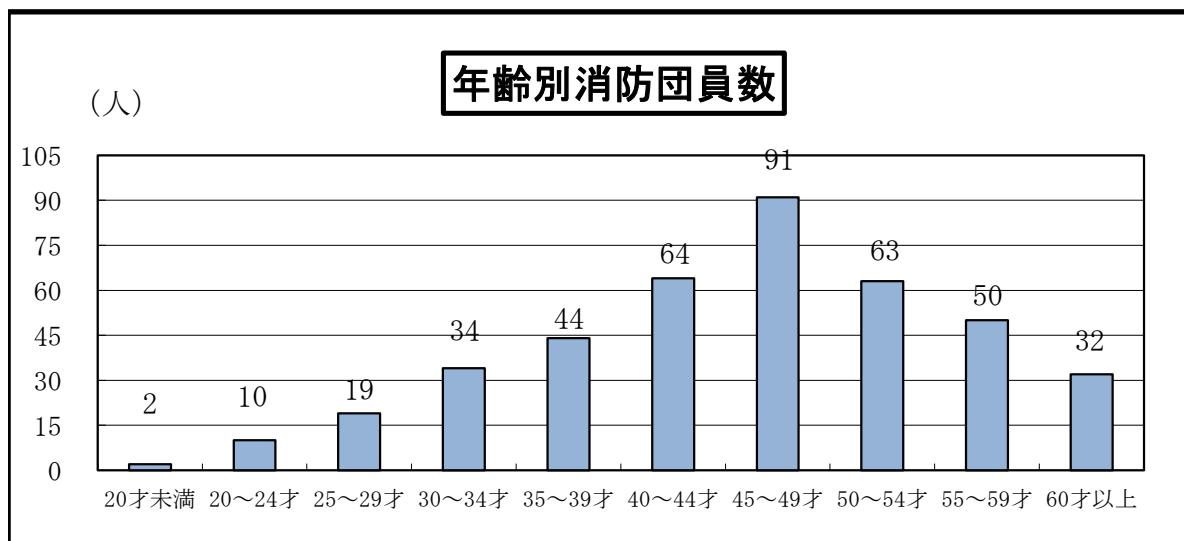
消防団組織



消防団員の年齢

平成30年4月1日

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	割合 (%)
20才未満							2	2	0.5
20~24才							10	10	2.4
25~29才							19	19	4.6
30~34才				3	1	2	28	34	8.3
35~39才			2	1	3	3	35	44	10.8
40~44才			3	7	5	8	41	64	15.6
45~49才			10	8	13	11	49	91	22.2
50~54才			10	9	2	7	35	63	15.4
55~59才		1	4	2	5	2	36	50	12.2
60才以上	1	3	3	2	1	1	21	32	7.8
計	1	4	32	32	30	34	276	409	100.0
平均年齢	60.0	61.5	50.8	47.3	47.0	46.1	44.1	45.5	



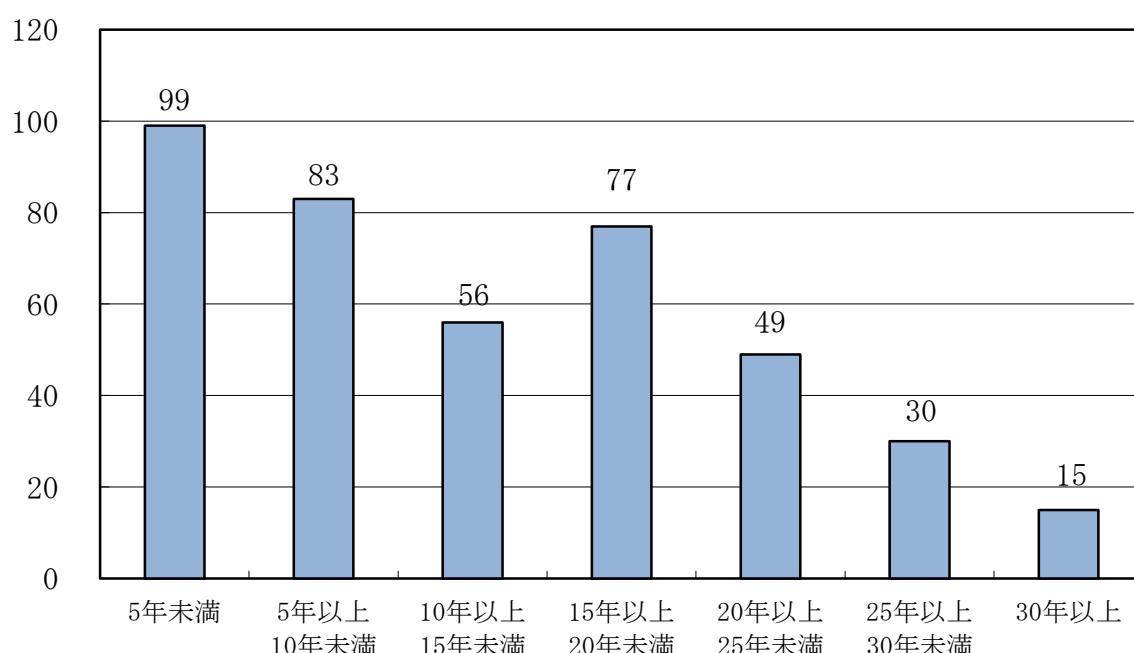
消防団員の勤続年数

平成30年4月1日

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
99	83	56	77	49	30	15	409

(人)

勤続年数別消防団員数



消防団員表彰

表彰区分		階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
消防庁長官		永年勤続功労章		1						1
大阪府知事	勤続功労章								1	1
	消防功労章				1	1	1	1	3	7
摂津市長	勤続50年表彰									0
	勤続40年表彰				1			1		2
	勤続30年表彰									0
	勤続20年表彰				3	2	2		12	19
	勤続10年表彰					1	1	2	4	8
	勤続5年表彰					1		1	12	14
日本消防協会会長	功績章									0
	精績章					1				1
	勤続章									0
大阪府消防協会会長	功績章								1	1
	永年勤続章				1		1		2	4
	勤続章				4	2	2	1	4	13
	勤功章					1	3		4	8
	精勤章				1	4	1		3	9
大阪府消防協会 三島地区支部長表彰						1		1	13	15

消防団車両一覧

平成31年3月31日

	分団名	登録番号	車名	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	総重量 (kg)	燃料	定員	種別	ポンプ				
											種別	年式	製作所名	型式	
鳥飼地区	摂津市第一分団	大阪800せ1050	日野	5,370	1,880	2,360	4,240	軽油	8	準中型	H19.10.24	ポンプ車	—	モリタ	—
	鳥飼上分団	大阪80あ2392	スズキ	3,390	1,470	1,950	1,280	ガソリン	4	軽	H14.10.7	軽積載車	H19	トーハツ	VF53AS
	鳥飼中分団	大阪880あ213	ダイハツ	3,390	1,470	1,900	1,330	〃	4	〃	H17.11.10	〃	H24	〃	〃
	鳥飼八町分団	大阪883こ119	〃	3,390	1,470	1,980	1,310	〃	4	〃	H25.7.26	〃	H24	〃	〃
	鳥飼下分団	大阪80あ1138	〃	3,290	1,390	1,990	1,330	〃	4	〃	H7.7.6	〃	H24	〃	〃
	鳥飼西分団	大阪883い24	スズキ	3,390	1,470	1,920	1,260	〃	4	〃	H21.12.3	〃	H26	〃	〃
	鳥飼八防分団	大阪80あ866	〃	3,290	1,390	1,940	1,200	〃	4	〃	H4.12.28	〃	H22	〃	〃
	鳥飼和道分団	大阪80あ1153	三菱	3,290	1,390	1,930	1,230	〃	4	〃	H7.7.28	〃	H29	〃	〃
	鳥飼野々分団	大阪80あ2700	ダイハツ	3,390	1,470	1,990	1,320	〃	4	〃	H15.12.18	〃	H25	〃	〃
味生地区	摂津市第二分団	大阪800せ2524	三菱	5,400	1,920	2,370	4,230	軽油	8	準中型	H20.10.17	ポンプ車	—	モリタ	—
	別府分団	大阪830す2016	トヨタ	4,860	1,690	2,100	2,810	〃	6	普通	H28.7.22	普通積載車	H27	トーハツ	VF53AS
	一津屋分団	大阪832つ119	〃	4,760	1,700	2,150	2,530	ガソリン	6	〃	H23.12.15	〃	H16	〃	VC62AS
	大金分団	大阪80あ919	三菱	3,290	1,390	1,970	1,320	〃	4	軽	H5.10.28	軽積載車	H19	〃	VF53AS
	新在家分団	大阪880あ2911	スズキ	3,390	1,470	1,970	1,420	〃	4	〃	H26.11.28	〃	H26	シバウラ	P555DAN
味舌地区	摂津市第三分団	大阪830さ1903	日野	5,380	1,880	2,300	4,160	軽油	8	準中型	H22.10.19	ポンプ車	—	モリタ	—
	味舌上第1分団	大阪800す9141	〃	5,200	1,900	2,300	4,400	〃	6	〃	H18.8.25	〃	—	〃	—
	味舌上第2分団	大阪800せ3756	〃	5,200	1,880	2,260	4,460	〃	6	〃	H21.10.15	〃	—	〃	—
	坪井分団	大阪800す5083	日産	4,990	1,700	2,290	2,900	ガソリン	8	普通	H16.7.9	普通積載車	H16	トーハツ	VC62AM
	庄屋分団	大阪80あ1040	ダイハツ	3,290	1,390	1,930	1,160	〃	4	軽	H6.8.31	軽積載車	H15	〃	VC62AS
	正音寺分団	大阪800す2719	日産	5,300	1,700	2,140	2,865	〃	9	普通	H15.5.15	普通積載車	H12	〃	VC52AS
	正雀分団	大阪80あ2434	ダイハツ	3,390	1,470	1,990	1,390	〃	4	軽	H14.12.24	軽積載車	H12	〃	〃
	味舌下分団	大阪80あ2011	〃	3,390	1,470	1,990	1,450	〃	4	〃	H12.12.22	〃	H19	〃	VF53AS
千里丘地区	摂津市第四分団	大阪800せ3727	日野	5,350	1,880	2,360	4,100	軽油	8	準中型	H21.10.7	ポンプ車	—	モリタ	—
	千里丘第1分団	大阪80あ731	ダイハツ	3,290	1,390	1,990	1,270	ガソリン	4	軽	H3.11.8	軽積載車	H26	トーハツ	VF53AS
	千里丘第2分団	大阪883か119	〃	3,390	1,470	1,980	1,310	〃	4	〃	H22.10.15	〃	H26	〃	〃
	小坪井分団	大阪883す119	三菱	3,390	1,470	1,960	1,470	〃	4	〃	H25.11.21	軽ポンプ車	—	ネイチャー	—
	乙辻分団	大阪800せ5024	日産	4,610	1,780	2,300	2,920	〃	6	普通	H22.12.17	普通積載車	H28	トーハツ	VF53AS
	太中分団	大阪800さ6841	〃	5,050	1,700	2,280	2,765	〃	9	〃	H12.12.15	〃	H28	〃	〃
	鶴野分団	大阪83あ94	三菱	3,190	1,390	1,930	950	〃	2	軽	S58.6.10	軽積載車	H28	〃	〃
機能別消防分団	アシモリ	大阪800す7419	トヨタ	5,150	1,880	2,440	4,080	軽油	10	準中型	H17.10.18	ポンプ車	—	モリタ	—
	カネカ	大阪800す8341	いすゞ	6,730	2,200	2,650	7,740	〃	6	中型	H18.3.29	化学車	—	〃	—
	ダイキン	大阪800す7579	日野	5,200	1,880	2,450	3,900	〃	6	準中型	H17.11.21	ポンプ車	—	〃	—